

■答申書（令和5年1月23日付）に対する今後の方向性

1 事業運営について

文化芸術関連事業について、すべての市民に等しく文化芸術にふれる機会を提供するという意味において、おおむね酒田市文化芸術推進計画（以下「計画」という。）に基づいた事業実施の前進が一定程度図られてきたことは評価できる。

今後も、この取り組みを一層強化、継続するとともに、酒田市文化芸術基本条例の基本理念が、まちづくり、産業、観光、福祉、教育等、庁内の部署を越えた全庁的な事業に浸透するように庁内連携組織の確立と体制の拡充、整備にさらに努めること。

また、事業の実施にあたっては、市民、文化芸術団体、学校、事業者等、相互の交流及び連携強化を行い、文化施設を活用しながら、生涯学習や伝統文化など郷土愛を醸成するような幅広い事業展開を全庁的に実施するよう努めること。特に、障がい者、就学前の子ども、小中学校の児童・生徒、外国人、高齢者、一人暮らしの人などを対象とした、身体的、経済的、時間的、社会関係的な格差を考慮した文化・芸術供給機会提供の強化を図るとともに、併せてそのための、障がい者施設、幼稚園、保育所、認定こども園及び小学校、中学校などとの連絡調整機能の整備、確立に努めること。

●令和4年度より文化芸術推進プロジェクト会議については計画に沿った構成員で庁内の部長級職員を中心に再編成したところです。今後はこの組織を中心に庁内連携をさらに強化し、障がい者、就学前の子ども、小中学校の児童・生徒、外国人、高齢者、一人暮らしの人などを対象とした事業にも連携しながら取り組み、文化芸術を核としたまちづくりの充実を図ってまいります。

2 文化芸術活動を支える人材の育成について

将来にわたり地域に根づく文化芸術活動を推進するため、市民、文化芸術団体、事業者、教育機関、福祉機関、行政の相互調整を図り幅広い分野で活動する人材が必要である。特に、前記1に掲げる各機関、組織との間に立って調整できる人材、組織が不可欠となる。地域に根差したこれらの人材資源の確保と調整機能の確立のため、この役割を担える市民コーディネーターの発掘と育成に努めること。

●文化芸術団体や各機関、行政が相互に連携を図っていくことは、今後の文化芸術推進のために重要な課題であると認識しています。令和5年度はその調整役を担う市民コーディネーターの配置を検討し、地域に根差した文化芸術活動の推進を図ってまいります。

3 評価等の見直しについて

文化芸術関連事業の評価指標の達成度、効果等については、行政内部による事務事業評価である、経費(コスト)評価と事業量(アウトプット)評価を、事業カード化して客体化し、事業効果の有効性に着目した政策評価を行う必要がある。この政策評価(有効性評価)は、文化芸術審議会が毎年度、責任ある外部評価機関として参画し、計画に記載された指標の妥当性の検証とともに、政策の有効性を検討・評価するものである。従ってその評価結果を次年度以降の事業展開に反映できるよう、文化芸術審議会の開催時期や評価方法についても検討を行うこと。

また、計画について、計画策定から5年が経過しているため、これまでの評価を受けて、適切な目標数値の見直しについて検討を行うこと。

●令和5年度事業予算より、全庁的に統一した事業カードを作成し、審議会より本市の総合的な政策評価をしていただくことで、次年度以降の事業組み立てや関係各課との相互理解を図り、連携事業の模索をしていきます。

●計画の目標数値の見直しについては、これまでの事業実績の評価やアンケート結果、今後予想される社会情勢等を踏まえ令和5年度に見直しを図ってまいります。

資料 2

令和 4 年度 市民アンケート結果

調査期間 : 令和 5 年 1 月 16 日(月)~2 月 7 日(火)
 調査項目 : 本市における文化芸術に関する設問(10 問)
 調査方法 : 18 歳~79 歳までの市民を対象に、人口構成比に応じて 1,000 名を無作為に抽出しアンケートを送付
 回答方法 : 郵送またはWEB入力による回答
 回答者数 : 412 人(回答率 41.2%)

※カッコ内は構成比

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	未回答	合計
発送者数(人)	21 (2.1%)	96 (9.6%)	117 (11.7%)	172 (17.2%)	178 (17.8%)	202 (20.2%)	214 (21.4%)		1,000
回答者数(人)	5 (1.2%)	25 (6.1%)	34 (8.3%)	59 (14.3%)	82 (19.9%)	104 (25.2%)	99 (24.0%)	4 (1.0%)	412
回答率	23.8%	26.0%	29.1%	34.3%	46.1%	51.5%	46.3%		

酒田市文化芸術推進計画の評価指標に対する現状値及び目標値 (市民アンケート結果)

基本目標	評価指標	現状値					目標値
		H29 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	
市民文化政策 (ひとづくり) 自由で多様性を認める 心豊かな市民生活の 実現	文化芸術活動のしやすいまちだと答える市民の割合	50.3%	50.9%	35.0%	36.9%	34.0%	60%
	文化芸術活動に参加した市民の割合	27.7%	29.3%	16.2%	27.0%	26.9%	33%
	文化芸術活動の満足度	42.1%	36.2%	25.2%	29.0%	21.8%	50%
	文化芸術活動を鑑賞した市民の割合	36.4%	43.8%	28.8%	30.9%	41.0%	43%
	子どもたちの文化芸術に触れる機会に対する満足度	31.2%	29.3%	20.7%	20.3%	18.2%	37%
都市文化政策 (まちづくり) 誇りのもてる 酒田らしさの創造	文化資源について誇りを持っている市民の割合	66.3%	58.4%	53.1%	54.0%	48.1%	79%
	文化施設(※1)に行ったことのある市民の割合	81.7%	56.1%	58.3%	74.0%	66.3%	90%

※1 文化施設とは土門拳記念館、酒田市美術館、本間美術館、酒田市民会館「希望ホール」、総合文化センター(分セは、H29 及び R4 対象)

○H30 年度はアンケートの実施なし。

○現状値について:無作為抽出(人口構成比に比例)した市民 1,000 名(H29 は 2,000 名)にアンケートを送付(2 月)し、郵送及び kintone (R3-R4) で回答
 (回収率:H29=27.8%、R1=40.9%、R2=42.0%、R3=44.1%、R4=41.2%)

●平成 29-令和 4（全体期間）

現在の目標数値は、コロナ禍前に目指した令和 4 年度の目標数値であり、令和 2 年度からはコロナの影響を受け、評価指標の数値がかなり落ち込み、それ以降も平成 29 年度の数値よりほぼすべての評価で下回り、目標数値達成には至っていない状況である。

令和 5 年 3 月には、マスク着用を個人の判断に任せることや、5 月にはコロナウィルスが 5 類と認定されることにより、コロナ禍の影響も徐々に回復傾向になると予想される。

特に目標に及ばなかった(およそ 30%)評価指標は「文化芸術活動の満足度」と「文化資源について誇りを持っている市民の割合」となっている。

「文化芸術活動の満足度」については、一般大衆向けのコンサートがコロナ禍により自粛傾向にあったことも要因と考えられる。現在行っているリサイタルや地域コンサート等の内容をより多くの市民への浸透を図るとともに、今後はプロモーターへの貸館としての売り込みも積極的に行ってまいりたい。

「文化資源について誇りを持っている市民の割合」については、国指定史跡である山居倉庫が令和 5 年度から 2 か年かけて整備計画が立てられ、令和 7 年度より具体的に動き出す予定、さらに旧鑑屋については、現在も修復作業中のため休館となっている。また資料館、光丘文庫の機能を併せ持つ文化資料館（仮称）は令和 6 年度に開館予定。これらの文化資源の整備状況や黒森歌舞伎酒田公演の令和元年から令和 3 年までの中止など民俗芸能等の活動が少なかったことなどがアンケート結果に影響されているものと考えられる。今後は、市民へそれぞれの施設の整備の進捗状況の周知を図ることと興味関心を引き付けていくとともに、民俗芸能に携わる方々への人材育成や郷土愛醸成に係る講座の開催などの対応が必要であると考えられる。

●令和 2-4（コロナ禍期間）

「文化芸術活動のしやすいまち」の割合はほぼ横ばいに推移。

「文化芸術活動に参加した市民の割合」は、令和 2 年度にくらべると上昇傾向。コロナ禍であっても文化芸術活動しようとする（したい）市民の方が多く、その気持ちを維持し続けてもらうため、人材育成や活動の後押しが必要であると考えられる。

●令和 3-4（前年度比較）

令和 3 年度と比べると「文化芸術活動を鑑賞した市民の割合」が 10.1%上昇している。これは地域コンサートや、小学校へのアウトリーチ、コロナ消息傾向により地域での文化祭の開催等が影響しているものと考えられる。

ただし、他の指標については、前年の数値を下回っている状況。特に「文化芸術活動の満足度」（●平成 29-令和 4 参考）「文化施設に行ったことのある市民の割合」は、7%以上下回る結果となった。

また「子どもたちの文化芸術に触れる機会に対する満足度」について本アンケートでは減少しているが、一方で小学校へ一流アーティストが訪問するアウトリーチ事業や保育園、幼稚園等に行っている出前講座等の満足度は高い。本アンケートの中でも、回答者の年齢層（同居者）によっては変動が生じる内容となる質問のため、回答項目に子を持つ親などの選択を増やししながら、数値の検証を進めていく。

令和5年度
酒田市文化芸術推進計画事業カード
(50事業)

課	該当事業No.	課	該当事業No.
都市デザイン課	1 ~ 3	高齢者支援課	15
商工港湾課	4	健康課	16
交流観光課	5 ~ 8	農政課	17
まちづくり推進課	9 ~ 10	農林水産課	18
八幡総合支所	11	学校教育課	19 ~ 21
松山総合支所	12	社会教育課	22 ~ 30
平田総合支所	13	文化政策課	31 ~ 50
福祉企画課	14		

事業No.1

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	景観づくり事業
事務事業名	景観づくり事業
担当部署名	企画部都市デザイン課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	<都市文化政策> 誇りのもてる酒田らしさの創造 10~20
該当する基本的施策①	6 市民との協働・共創による事業展開
該当する基本的施策②	14 酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	市民、事業者
3 事業の対象	市民、事業者
4 事業の目的	フラワーバスケット設置の普及促進や、屋外広告物事務を円滑に運用すること等により、市民等との協働で美しいまちづくりを推進すること。
5 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 良好な景観形成への誘導 (2) 「景観形成重点地域」の景観づくり推進 (山居倉庫周辺地区、松山歴史公園周辺地区、日和山周辺地区) (3) 屋外広告物指導員を委嘱することによる、屋外広告物事務の円滑な運用 (4) フラワーバスケット設置の普及促進 <ul style="list-style-type: none"> ・市民との協働によるフラワーバスケットの作成・設置 (ミライニ広場) ・事業所との協働によるフラワーバスケットの作成・設置 (花苗代の半額を事業所で負担) (5) 既存プランターの再整備による中町モールの美化推進

事業No.1

■事業コスト

(単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費 (a)	2,837	2,837	3,943
財 源 内 訳	国支出金		
	県支出金	1,295	1,050
	市債		
	その他 ()		
	受益負担金 (使用料、手数料等)	273	273
一般財源	1,269	1,514	2,399

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
正規職員従事者数	人工	0.2	0.2	0.2
再任用職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工	1.0	1.0	1.0

■成果(活動)指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	文化芸術活動のしやすいまちだと答える市民の割合	%	36.9	34	60	
2	文化資源について誇りを持っている市民の割合	%	54	48.1	79	
3	【総】美化サポーター登録人数	人	12,589	12,685 <small>(R.5.3.15現在)</small>	12,500	12,500
4	フラワーバスケット作成講習会	人	-	48	50	
5	フラワーバスケット設置協力事業所	事業所	-	4	4	

事業No.2

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	山居倉庫整備基本計画策定事業
事務事業名	山居倉庫整備基本計画策定事業
担当部署名	企画部都市デザイン課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	<都市文化政策> 誇りもてる酒田らしさの創造 10~20
該当する基本的施策①	1 文化芸術活動を行う環境の整備
該当する基本的施策②	13 文化財等の地域資源の活用

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	策定委員会、市民
3 事業の対象	市民
4 事業の目的	国指定史跡山居倉庫の整備基本計画を策定することにより、山居倉庫の歴史的価値の保存及び地域の歴史や文化を尊ぶ心を醸成し、郷土愛にあふれた人材を育成すること。
5 事業内容	<p>それぞれの分野の学識経験者で構成される策定委員会を組織し、令和4年度に策定した山居倉庫保存活用計画を基に国指定史跡山居倉庫の来訪者への史跡の本質的価値を正しく伝え、史跡の保全と次世代への継承を図り、史跡の特色を活かした整備を目指すため史跡山居倉庫整備基本計画を策定する。</p> <p>令和5年7月 第1回策定委員会 令和5年11月 第2回策定委員会 令和6年2月 第3回策定委員会</p>

事業No.2

■事業コスト

(単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費 (a)			5,000
財源内訳			
国支出金			2,500
県支出金			202
市債			
その他 (酒田商業跡地土地貸付収入)			36
受益負担金 (使用料、手数料等)			
一般財源			2,262

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
職員数内訳				
正規職員従事者数	人工			2.0
再任用職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工			

■成果(活動)指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	文化芸術活動のしやすいまちだと答える市民の割合	%	36.9	34	60	
2	文化資源について誇りを持っている市民の割合	%	54	48.1	79	

事業No.3

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	山居倉庫公有化事業
事務事業名	山居倉庫公有化事業
担当部署名	企画部都市デザイン課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	<都市文化政策> 誇りをもてる酒田らしさの創造 10~20
該当する基本的施策①	1 文化芸術活動を行う環境の整備
該当する基本的施策②	13 文化財等の地域資源の活用
該当する基本的施策③	14 酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
該当する基本的施策④	15 文化施設の活用

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	
3 事業の対象	市民
4 事業の目的	国指定史跡山居倉庫を公有化することにより、山居倉庫の歴史的価値の保存及び地域の歴史や文化を尊ぶ心を醸成し、郷土愛にあふれた人材を育成すること。
5 事業内容	<p>令和4年度で農業倉庫としての機能が終了したために、この貴重な史跡を適切に保存・管理し、整備・活用を図るために公有化を行う。</p> <p>(1) 購入先 庄内倉庫株式会社、全国農業協同組合連合会</p> <p>(2) 事業費</p> <p>①土地購入費 263,000千円 14,790.68㎡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄内倉庫株式会社持分 8,016.7㎡ (54%) 142,020千円 ・全国農業協同組合連合会持分 6,773.98㎡ (46%) 120,980千円 <p>②建物購入費 351,800千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄内倉庫株式会社持分 198,100千円 ・全国農業協同組合連合会持分 153,700千円 <p>③購入経費 3,125千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 費用弁償 120千円 普通旅費 240千円 消耗品費 34千円 委託料 2,731千円

事業No.3

■事業コスト (単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費 (a)			618,752
財源内訳	国支出金		491,915
	県支出金		6,640
	市債		
	その他(公共施設等整備基金繰入金)		119,370
	受益負担金(使用料、手数料等)		
一般財源			827

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
正規職員従事者数	人工			0.5
再任用職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工			

■成果(活動)指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	文化芸術活動のしやすいまちだと答える市民の割合	%	36.9	34	60	
2	文化資源について誇りを持っている市民の割合	%	54	48.1	79	

事業No.4

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	客船誘致事業
事務事業名	客船誘致事業
担当部署名	地域創生部商工港湾課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	<都市文化政策> 誇りのもてる酒田らしさの創造 10~20
該当する基本的施策①	8 文化芸術による国際交流
該当する基本的施策②	12 多様な分野との連携及びネットワークづくり
該当する基本的施策③	17 観光との連携
該当する基本的施策④	18 産業との連携

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	プロスパーポートさかた、ポートセールス協議会外航クルーズ船誘致部会、酒田港湾振興会、
3 事業の対象	クルーズ船社、クルーズ乗客、市民
4 事業の目的	クルーズ船社等へのプロモーション活動や、入出港イベント及びシャトルバスの運行などの実施により、酒田港にクルーズ船を誘致し、賑わいの創出及び地域経済の活性化につなげること。
4 事業内容	<p>(1) 誘致 クルーズ船社等に対するプロモーション活動、視察対応 “プロスパーポートさかた”ポートセールス協議会外航クルーズ船誘致部会により実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ船社へのセールス活動 ・クルーズ商談会、クルーズ関連会議等への参加 ・動画による寄港地観光のPR <p>(2) 受入 ふ頭の管理及び入港、出港イベントの実施 外国クルーズ船については“プロスパーポートさかた”ポートセールス協議会外航クルーズ船誘致部会、国内クルーズ船については酒田港湾振興会により実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふ頭の管理（受入に必要な設備の配置、管理） ・クルーズ船受入協議会の実施（事務局（港湾管理者）の県に対する協力） ・本港地区入港へ向けた岸壁整備の要望、受入体制の構築 ・クルーズ船の入港、出港時のイベントの実施 ・ふ頭での出店の管理 ・ふ頭と市街地を往復するシャトルバスの運行（船社で実施しない場合） ・クルーズ寄港へ向けた説明会、セミナー等の開催 <p>○令和5年度クルーズ船寄港見込み※</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国クルーズ船 6回 <p>※クルーズ商品の販売状況等から寄港見込み数を積み上げたもの。 新型コロナウイルス感染症の状況等により変更となる可能性がある。（令和5年1月時点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内クルーズ船 1回 <p>※現時点では未定だが、1回の寄港分を計上。</p>

事業No.4

■事業コスト (単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費 (a)	8,767	500	9,661
財源内訳	国支出金		
	県支出金		
	市債		
	その他 ()		
	受益負担金 (使用料、手数料等)		
一般財源	8,767	500	9,661

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
正規職員従事者数	人工	1.2	0.3	1.2
再任用職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工			

■成果(活動)指標

成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1 文化芸術活動に参加した市民の割合	%	27	26.9	33	
2 文化資源について誇りを持っている市民の割合	%	54	48.1	79	
3 クルーズ船年間寄港回数	回	0	0	6	20
4 クルーズ船誘致活動回数	回	2	1	5	

事業No.5

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	客船受入事業
事務事業名	客船受入事業
担当部署名	地域創生部交流観光課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	<都市文化政策> 誇りをもてる酒田らしさの創造 10~20
該当する基本的施策①	6 市民との協働・共創による事業展開
該当する基本的施策②	8 文化芸術による国際交流
該当する基本的施策③	17 観光との連携
該当する基本的施策④	18 産業との連携

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	観光ボランティア、市民、ポートセールス協議会、県
3 事業の対象	乗客、乗務員、市民、
4 事業の目的	酒田港に寄港するクルーズ船の乗客や乗務員を歓迎し、及び「おもてなし」によって寄港者の満足度を高めることにより、酒田港にクルーズ船を誘致し、賑わいの創出及び地域経済の活性化につなげる。
4 事業内容	<p>(1) 外国クルーズ船寄港時歓迎</p> <ul style="list-style-type: none"> 酒田港北港岸壁、街中での観光案内の実施 観光案内所の設置、通訳ボランティアの設置、各所への観光案内ボランティアの設置 <p>(2) 邦船クルーズ船寄港時歓迎</p> <ul style="list-style-type: none"> 酒田港北港岸壁での歓迎 観光案内所の設置（庄内総合支庁との連携）、特産品PR販売ブースの設置、大獅子の設置 街中での観光案内の実施 観光案内所の設置 <p>○令和5年度クルーズ船寄港見込み※</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国クルーズ船 6回 <p>※クルーズ商品の販売状況等から寄港見込み数を積み上げたもの。 新型コロナウイルス感染症の状況等により変更となる可能性がある。（令和5年1月末時点）</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内クルーズ船 1回 <p>※現時点では未定だが、1回の寄港分を計上。</p>

事業No.5

■事業コスト (単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費 (a)	1,148	1,148	1,814
財源内訳	国支出金		
	県支出金		
	市債		
	その他 ()		
	受益負担金 (使用料、手数料等)		
一般財源	1,148	0	1,814

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
職員数内訳				
正規職員従事者数	人工	1	1	1
再任用職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工			1

■成果(活動)指標

成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1 文化芸術活動に参加した市民の割合	%	27	26.9	33	
2 文化資源について誇りを持っている市民の割合	%	54	48.1	79	
3 クルーズ船年間寄港回数	回	0	0	6	20
4 観光施設入込数	万人	193	204 (R5.1月末現在)		350
5 観光・市内案内従事者数	人	0	0	100	100

事業No.6

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	秋田・酒田交流事業
事務事業名	秋田・酒田交流事業
担当部署名	地域創生部交流観光課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	<都市文化政策> 誇りのもてる酒田らしさの創造 10~20
該当する基本的施策①	12 多様な分野との連携及びネットワークづくり
該当する基本的施策②	13 文化財等の地域資源の活用
該当する基本的施策③	17 観光との連携

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	秋田・酒田交流事業実行委員会
3 事業の対象	市民(秋田・酒田)
4 事業の目的	北前船の寄港地であった「秋田・酒田」両市の観光資源を活用した市民参加型の事業を実施することにより、都市間の相互交流を拡大すること。
4 事業内容	<p>市民参加型の事業を実施し、両市の活性化を促進する。</p> <p>(1) 秋田・酒田交流事業実行委員会負担金(1,200千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子で楽しむ体験支援 <p>マイクロツーリズム促進の一環として、秋田市の観光資源である大森山動物園を本市の小学生以下の親子が利用する際の入園料を支援する。</p> <p>また、同園で両市の親子の交流の機会を設けることにより、交流の促進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化交流事業 <p>イベントの開催に合わせ、あきた舞妓と酒田舞娘とのコラボや、秋田市と酒田市のブースを出展し、物販や観光PR等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北前船クイズラリーの実施 <p>北前船カードを組み合わせさせたクイズラリーを実施し、両市の交流人口の拡大を図</p>

事業No.6

■事業コスト (単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費(a)	1,200	1,200	1,200
財源内訳	国支出金		
	県支出金		
	市債		
	その他()		
	受益負担金(使用料、手数料等)		
一般財源	1,200	1,200	1,200

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
職員数内訳				
正規職員従事者数	人工	1	1	1
再任用職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工			

■成果(活動)指標

成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1 文化芸術活動に参加した市民の割合	%	27	26.9	33	
2 文化資源について誇りを持っている市民の割合	%	54	48.1	79	
3 観光施設入込数	万人	193	204 (R.5.1月末現在)		350
4 交流事業の参加人数(酒田市民)	人		755 (R.5.1月末現在)	1,000	
5 交流事業の参加人数(秋田市民)	人			1,000	

事業No.7

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	観光戦略推進事業
事務事業名	観光戦略推進事業
担当部署名	地域創生部交流観光課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	<都市文化政策> 誇りのもてる酒田らしさの創造 10~20
該当する基本的施策①	12 多様な分野との連携及びネットワークづくり
該当する基本的施策②	14 酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
該当する基本的施策③	16 伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
該当する基本的施策④	17 観光との連携

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	観光事業者、国、市民
3 事業の対象	市民(秋田・酒田)
4 事業の目的	一般財団法人酒田DMOが中心となり、観光関連事業者と連携しながら、地域資源を活用した観光商品の造成、マーケティングに基づく情報発信及び誘客など、稼ぐ観光地域づくりを推進すること。
4 事業内容	<p>酒田市中長期観光戦略に基づき、酒田における3つの「強み」である、①農産物や海産物など豊富な食材の宝庫、②酒田舞娘をはじめとした歴史文化、③鳥海山・飛島ジオパークなど豊かな自然環境を「酒田自慢」として広めることで「酒田ファン」を増やし誘客の促進を図っていく。</p> <p>(1) 酒田DMO負担金(デジタル田園都市国家構想交付金事業) 41,686千円 ・酒田DMOの運営支援 ・アドベンチャーツーリズムの企画開発 ・酒田の美酒美食ツーリズムの推進 ・さかた観光交流マスターの活用 ・インバウンド対応のためのプロモーション活動 ・地域観光事業者との連携</p> <p>(2) 地域活性化起業人負担金 27,400千円 総務省の企業人材派遣制度を活用し、民間企業から社員を受入れ、酒田DMOの機能を強化し、事業内容の充実や円滑な事業実施を図る。</p> <p>(3) 観光動向調査 583千円 (4) 英語版観光ウェブサイト経費等 214千円</p>

事業No.7

■事業コスト (単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費(a)			69,883
国支出金			20,842
県支出金			
市債			
その他()			10,000
受益負担金(使用料、手数料等)			
一般財源			39,041

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
正規職員従事者数	人工	1	1	1
再任用職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工			

■成果(活動)指標

成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1 文化芸術活動に参加した市民の割合	%	27	26.9	33	
2 文化資源について誇りを持っている市民の割合	%	54	48.1	79	
3 観光施設入込数	万人	193	204 (R5.1月末現在)		350
4 来訪者(日帰り)消費単価	円	4,985	集計中		6,800
5 来訪者(宿泊)消費単価	円	21,407	集計中		22,600
6 地域商品の造成数	件	0	0		6(令和6年度)

事業No.8

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	交流観光推進事業
事務事業名	各団体への負担金
担当部署名	地域創生部交流観光課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	<都市文化政策> 誇りのもてる酒田らしさの創造 10~20
該当する基本的施策①	8 文化芸術による国際交流
該当する基本的施策②	12 多様な分野との連携及びネットワークづくり
該当する基本的施策③	16 伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
該当する基本的施策④	17 観光との連携
該当する基本的施策⑤	18 産業との連携

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	各団体
3 事業の対象	市民、
4 事業の目的	酒田DMOと連携し、交流と観光により賑わいの創出を図り、誘客促進と観光消費額の増加に繋げ、地域経済の活性化を促進する。
4 事業内容	<p>交流観光全般に係る経費 旅費 626千円 需用費 1,249千円</p> <p>負担金(千円) 酒田観光物産協会負担金 4,493 山形県観光物産協会負担金 171 鳥海国定公園観光開発協議会負担金 759 山形県自然公園等保全整備促進協議会負担金 11 山形の観光と物産展実行委員会負担金 459 やまがたインバウンド協議会負担金 150 やまがた観光キャンペーン推進協議会負担金 1,656 寒鷺まつり実行委員会負担金 1,000 山形県沿岸域総合利用推進協議会負担金 319 北前船日本遺産推進協議会負担金 500 酒田市日本遺産推進協議会負担金 1,007 山形県タイ友好協会負担金 10 荘内酒井歴史文化振興会会費 20 庄内観光コンベンション協会負担金 4,873 日本海きらきら羽越観光圏推進協議会負担金 3,474 地域連携研究所会費 300 陸羽東西線利用推進協議会負担金 36 酒田のまつり実行委員会負担金 32,923 酒田ばやし保存会運営費補助金 119</p>

事業No.8

■事業コスト (単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費(a)	29,052	28,000	52,280
財源内訳	国支出金		
	県支出金		
	市債		
	その他()		
	受益負担金(使用料、手数料等)		
一般財源	29,052	28,000	52,280

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
正規職員従事者数	人工	3.5	3.5	3.5
再任用職員従事者数	人工	0	0	0
会計年度任用職員	人工	2	2	2

■成果(活動)指標

成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1 文化芸術活動に参加した市民の割合	%	27	26.9	33	
2 文化資源について誇りを持っている市民の割合	%	54	48.1	79	
3 観光施設入込数	万人	193	204 (R5.1月末現在)		350

事業No.9

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	市民協働・公益活動推進事業
事務事業名	市民協働・公益活動推進事業
担当部署名	市民部まちづくり推進課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1～16
該当する基本的施策①	6 市民との協働・共創による事業展開
該当する基本的施策②	
該当する基本的施策③	
該当する基本的施策④	

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	社会福祉協議会(ボランティア・公益活動センター)、公益活動団体、ボランティア連絡協議会
3 事業の対象	市民、公益活動団体
4 事業の目的	ボランティア・公益活動センター（ボラポートさかた）の運営や公益活動団体等への補助金、公益活動団体と市による協働事業の企画運営等により、ボランティア・市民活動の支援の充実と協働が広がる環境づくりに取り組むこと。
5 事業内容	<p>(1) ボランティア・公益活動推進委員会の運営等 204千円 ・公益活動の推進に関する調査、審議及び助言（年3回開催予定）</p> <p>(2) ボランティア・公益活動センター（ボラポートさかた）の運営10,280千円 ・公益活動のコーディネート及び相談対応業務 ・公益活動を行う個人・団体の登録及び活動のPR ・公益活動に対する研修会等の開催 ・児童、生徒、学生等に対するボランティア教育の推進 ・ホームページ・SNS等での情報発信及びセンターだより（年9回）の発行 ・市民、公益活動団体間等の交流・連携促進 ・ボランティアコーディネーションカ3級検定の実施 ・各種ボランティアの募集及びコーディネート</p> <p>(3) 市民主体の公益活動を支援するための各種補助金の交付 1,894千円 ・公益活動支援補助金（団体育成型・団体間協働型） ・飛島ボランティア活動支援補助金 ・ボランティア連絡協議会運営補助金</p> <p>(4) 公益活動団体と市による協働事業の調整・実施 1,100千円 ・公益活動団体協働提案負担金制度（団体提案型・行政提案型）の運用</p>

事業No.9

■事業コスト

(単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度	
	当初予算	決算予定	当初予算	
事業費 (a)	13,482	11,223	13,478	
財源内訳	国支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他（公益活動支援基金繰入金）	13,482	10,859	13,478
	受益負担金（使用料、手数料等）			
一般財源	0	364	0	

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度	
		当初予算	決算	当初予算	
職員数内訳	正規職員従事者数	人工	1	1	1
	再任用職員従事者数	人工			
	会計年度任用職員	人工			

■成果(活動)指標

成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1 文化芸術活動のしやすいまちだと答える市民の割合	%	36.9	34	60	
2 【総】ボランティア・市民活動に参加した市民の割合（令和）	%	19.5	-	-	40
3 【総】市政に参画（参加）する機会が増えた、または多いと感じる市民の割合	%	15.6	-	-	30
4 ボランティア・公益活動センターの登録団体	団体	140	143 (見込み)	143	155
5 ボランティア・公益活動センターの利用人数	人	3,153	3,153 (見込み)	3,700	6,500

事業No.10

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	コミュニティ振興事業
事務事業名	コミュニティ振興事業
担当部署名	市民部まちづくり推進課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本的施策①	1 文化芸術活動を行う環境の整備
該当する基本的施策②	2 文化芸術に親しむことのできる環境の整備
該当する基本的施策③	5 文化芸術を支える人材の育成
該当する基本的施策④	7 地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	市内コミュニティ振興会
3 事業の対象	市内コミュニティ振興会
4 事業の目的	地域が育んできた力を活かし、地域に合った取り組みを地域コミュニティ自らが自由に選択し実行できる交付金制度（ひとづくり・まちづくり総合交付金）により、各地域の住民主体の活動を支援し、地域コミュニティ機能の維持・協働の地域づくりを推進すること
5 事業内容	<p>コミュニティ振興会に対し一定の金額を交付金として交付し、地域課題の解決等のために、それぞれの地域が主体的に判断し活用できる財源とする。</p> <p>コミュニティ振興会の運営及び自治振興、環境衛生、防災防犯、健康福祉、生涯学習、体育振興、青少年育成、婦人活動、高齢福祉等の活動に対する支援となる。</p> <p>文化芸術に係る主な活動 文化祭、民俗芸能保存</p>

事業No.10

■事業コスト

(単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度	
	当初予算	決算予定	当初予算	
事業費 (a)	164,759	162,771	164,628	
財源内訳	国支出金			
	県支出金			
	市債	34,300	43,800	20,400
	その他（地域づくり基金繰入金）	100,000	100,000	100,000
	受益負担金（使用料、手数料等）			
一般財源	30,459	18,971	44,228	

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
正規職員従事者数	人工	2	2	2
再任用職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工			

■成果(活動)指標

成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1 文化芸術活動のしやすいまちだと答える市民の割合	%	36.9	34	60	
2 総]コミュニティセンターの年間利用件数	件	20,999	20,325 (R5.1.31)		35,000
3 【総】地域住民が主体となった地域のありたい姿を協議する場の設定（令和5～9年度累計）	地域	1	1		5
4 地域計画策定の取り組み	地区	6	6	3	
5 地域人材育成にかかる取り組み	人	3	2	3	

事業No.1 1

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	八幡地域振興事業
事務事業名	八幡地域振興事業
担当部署名	八幡総合支所
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	<都市文化政策> 誇りのもてる酒田らしさの創造 10~20
該当する基本的施策①	2 文化芸術に親しむことができる環境の整備
該当する基本的施策②	7 地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
該当する基本的施策③	14 酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
該当する基本的施策④	16 伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	八幡地域協議会、庄内やわた会、地域おこし協力隊
3 事業の対象	地域住民等
4 事業の目的	八幡・平田連携事業や地域資源活用イベントを実施するとともに、地域おこし協力隊の配置及び活動支援などにより、八幡地域の振興、外部人材等及び鳥海山・やわた地域ジオパークの活用を推進すること。
5 事業内容	<p>(1) にぎわい創出1,311千円</p> <p>①八幡・平田連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八幡・平田地域が連携し、地域が有する「食」「自然」などの魅力を発信するイベントを令和5年度は八幡で開催（八幡・平田で隔年で合同開催） <p>②鳥海山・やわた地域ジオパーク推進事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八幡地域のジオサイトを中心とした魅力を紹介するツアーを実施 <p>③鳥海山登山教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥海山登山初心者向け教室の開催 <p>④玉簾の滝周辺整備助成、湯ノ澤霊泉管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草刈り等を行う升田区自治会への助成、湯ノ澤霊泉の水質調査・清掃 <p>(2) 芸術文化の振興451千円</p> <p>①八幡文化祭の開催</p> <p>②やわた百人一首かるた大会の開催</p> <p>③写真パネル保管用台車の購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白須史朗氏の展示展などに使用する写真パネルの保管及び運搬に活用 <p>(3) 地域おこし協力隊の配置及び活動支援3,780千円</p> <p>①新規隊員の配置（2名）観音寺地区、日向地区</p> <p>②地域住民並びに地域団体との協働による地域活性化に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域情報及びイベントに関する情報発信 ・地域資源を活用したにぎわいの創出 <p>(4) 八幡地域協議会の開催320千円</p> <p>(5) 庄内やわた会との交流49千円</p> <p>(6) 日向里かふえ鼠等防除管理業務委託130千円</p>

事業No.1 1

■事業コスト (単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費 (a)	7,812	4,060	6,041
財源内訳	国支出金	200	149
	県支出金		
	市債		
	その他 ()	300	305
	受益負担金 (使用料、手数料等)		
一般財源	7,312	3,606	6,041

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
正規職員従事者数	人工	2.2	2.2	
再任用職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工	2	2	

■成果(活動)指標

成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1 文化芸術活動に参加した市民の割合	%	27	26.9	33	
2 文化芸術活動のしやすいまちだと答える市民の割合	%	36.9	34	60	
2 八幡、松山、平田地域、飛鳥地区の交流人口の増加	万人	63.6			89.4
3 域内人口の社会増減	人				△10 (令和7年度)
4 八幡・平田連携事業入込数	人			2,000	

事業No.1 2

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	松山地域振興事業
事務事業名	松山地域振興事業
担当部署名	松山総合支所
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	<都市文化政策> 誇りのもてる酒田らしさの創造 10~20
該当する基本的施策①	2 文化芸術に親しむことができる環境の整備
該当する基本的施策②	7 地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
該当する基本的施策③	13 文化財等の地域資源の活用
該当する基本的施策④	17 観光との連携

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	松山にぎわい創出実行委員会、松山の宝推進協議会、酒田市芸術文化協会松山支部、地域おこし協力隊
3 事業の対象	一般市民
4 事業の目的	交流・観光イベントや地域資源活用事業を実施するとともに、地域おこし協力隊の配置及び活動支援などにより、松山地域の振興、外部人材等の活用を推進すること。
5 事業内容	<p>(1) にぎわい創出 573千円</p> <p>①交流・観光イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城下町松山の魅力を発信し、交流人口の増加を図るため「まつやま大手門くらふとフェア」を開催 <p>②地域資源活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史文化を学び、魅力を広くPRするため、「松山の宝茶話会」「甲冑着付け講座」「伝統文化体験事業」などを開催 <p>③健康増進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の健康増進、交流促進、高齢者の引きこもり防止のため「いきいきくらぶ」「健康福祉フェア」を開催 <p>(2) 芸術文化の推進 42千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松山芸術祭を広くPRするため、広報活動を支援 <p>(3) 地域おこし協力隊の配置及び活動支援 1,441千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域情報及びイベントに関する情報発信 ・地域資源を活用したにぎわい創出 <p>(4) 松山地域協議会の開催 318千円</p> <p>(5) 東京松山会との交流 44千円</p>

事業No.1 2

■事業コスト (単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度	
	当初予算	決算予定	当初予算	
事業費 (a)	3,535	3,181	2,418	
財源内訳	国支出金	1,683	776	
	県支出金			
	市債			
	その他 ()			
	受益負担金 (使用料、手数料等)			
一般財源	1,852	2,405	2,418	

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
正規職員従事者数	人工	3.5	3.5	
再任用職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工	1	1	

■成果(活動)指標

成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1 文化芸術活動に参加した市民の割合	%	27	26.9	33	
2 文化芸術活動のしやすいまちだと答える市民の割合	%	36.9	34	60	
3 八幡、松山、平田地域、飛	万人	63.6			89.4
4 域内人口の社会増減	人				△10 (令和7年度)
5 まつやま大手門くらふとフェアの入込数	人	中止	4,300	7,000	

事業No.13

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	平田地域振興事業
事務事業名	平田地域振興事業
担当部署名	平田総合支所
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	<都市文化政策> 誇りをもてる酒田らしさの創造 10~20
該当する基本的施策①	2 文化芸術に親しむことができる環境の整備
該当する基本的施策②	7 地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
該当する基本的施策③	14 酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
該当する基本的施策④	16 伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	平田地域協議会、首都圏ふるさと平田会、地域おこし協力隊
3 事業の対象	地域住民等
4 事業の目的	八幡・平田連携事業や地域資源を活用した事業を実施するとともに、地域おこし協力隊の配置及び活動支援などにより、平田地域の振興、外部人材等の活用を推進すること。
5 事業内容	<p>(1) にぎわい創出 497千円</p> <p>①八幡・平田連携事業（八幡地域振興事業にて予算計上）</p> <p>・八幡・平田地域が連携し、地域が有する「食」「自然」などの魅力を発信するイベントを令和5年度は八幡で開催（八幡・平田で隔年で合同開催）</p> <p>②自然体験教室の開催</p> <p>・地域資源を活用し、郷土愛の醸成に資するため、小学生を対象とした自然体験教室を開催</p> <p>(2) 芸術文化、スポーツの振興 760千円</p> <p>①平田さしこ教室の開催（初級、中級、上級、各8回）</p> <p>・地域の伝統技術を次世代に継承するため、平田さしこ教室を開催</p> <p>②ひらた文化祭の開催</p> <p>・地域住民の文化・芸術にふれる機会を提供するため、ひらた文化祭を開催</p> <p>③スポーツ教室の開催</p> <p>・地域住民の交流・健康増進とスポーツ人口の拡大を図るため、スポーツ教室を開催</p> <p>(3) 地域おこし協力隊の配置及び活動支援 2,734千円</p> <p>①新隊員の配置及び取り組み</p> <p>・地域情報及びイベントに関する情報発信</p> <p>・地域特有のイベントの企画・運営による交流人口の増加</p> <p>②前年度任期満了隊員の起業の支援</p> <p>(4) 平田地域協議会の開催 326千円</p> <p>(5) 首都圏ふるさと平田会との交流 56千円</p>

事業No.13

■事業コスト

(単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費 (a)	9,436	5,640	4,373
財 源 内 訳	国支出金	1,340	748
	県支出金		
	市債		
	その他 ()		
	受益負担金 (使用料、手数料等)		
一般財源	8,096	4,892	4,373

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
職員数内訳				
正規職員従事者数	人工	3.5	3.5	
再任用職員従事者数	人工	0.2	0.2	
会計年度任用職員	人工	1.5	1.5	

■成果(活動)指標

成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1 文化芸術活動に参加した市民の割合	%	27	26.9	33	
2 文化芸術活動のしやすいまちだと答える市民の割合	%	36.9	34	60	
3 八幡、松山、平田地域、飛島地区の交流人口の増加	万人	63.6			89.4
4 域内人口の社会増減	人				△10 (令和7年度)
5 八幡・平田連携事業入込数	人			2,000	
6					

事業No.14

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	地域活動支援センター事業
事務事業名	地域活動支援センター事業
担当部署名	健康福祉部福祉企画課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本的施策①	2 文化芸術に親しむことができる環境の整備
該当する基本的施策②	10 文化芸術による社会包摂
該当する基本的施策③	11 文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
該当する基本的施策④	12 多様な分野との連携及びネットワークづくり

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	障がい者の地域活動支援センター
3 事業の対象	障がい者、市民
4 事業の目的	障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律における地域活動支援センターとして、障がい者の創作活動または生産活動等の機会提供などの支援を行うことにより、障がい者福祉の充実を図ること。
5 事業内容	<p>障がい者の地域活動支援センター（小規模作業型、教室型）の運営に対して助成を行う。</p> <p>1) 小規模作業所型 名称 特定非営利活動法人 みつば 職員 指導員2名 作業内容 貸衣装小物のアイロン掛け、段ボールの組立、リサイクル（分解）作業 生活指導 家庭生活学習、社会生活学習、ミーティング、レクリエーション</p> <p>2) 教室型 名称 特定非営利活動法人 酒田市障がい者福祉会 職員 所長1名、指導員2名 教室名 カラオケ、パソコン、詩吟、軽スポーツ、書道、趣味の会、いきいき、手作り、手芸、グランドゴルフ、ゲートボール、カローリング、視覚障がい卓球、手話</p>

事業No.14

■事業コスト

(単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費 (a)	11,365	11,365	11,365
国支出金	1,500	1,500	1,500
県支出金	750	750	750
市債			
その他 ()			
受益負担金 (使用料、手数料等)			
一般財源	9,115	9,115	9,115

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
正規職員従事者数	人工	5.0	5.0	5.0
再任用職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工			

■成果(活動)指標

成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1 文化芸術活動のしやすいまちだと答える市民の割合	%	36.9	34	60	
2 【総】障がいがあることで差別や嫌な思いをすることがある人の割合	%				40
3 延べ利用人数	人	4,831	4,158 (R5.2月末現在)	5,300	

事業No.15

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	老人クラブ助成事業
事務事業名	老人クラブ助成事業
担当部署名	健康福祉部高齢者支援課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1～16
該当する基本的施策①	2 文化芸術に親しむことができる環境の整備
該当する基本的施策②	11 文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	老人クラブ(連合会)
3 事業の対象	市民(高齢者)
4 事業の目的	地域を基盤として、高齢者自らの生きがい・健康づくりや社会奉仕活動等を行う老人クラブに対して活動費を補助することにより、高齢者の交流や活動機会を創出し、高齢者福祉の充実を図ること。
5 事業内容	<p>老人クラブの活動支援として補助金を交付する。</p> <p>(1) 老人クラブ補助金 2,279千円 ①補助内容 市内の老人クラブが行う、社会奉仕活動事業、教養向上活動事業、健康づくり活動事業に対する経費 ②補助額 1クラブあたり年額21,000円及び会員1人につき年額150円</p> <p>(2) 老人クラブ連合会補助金 226千円 ①補助内容 酒田市老人クラブ連合会が行う、老人クラブの活動促進事業、健康づくり・介護予防支援事業、地域支え合い事業、若手高齢者組織化・活動支援事業、活動支援体制強化事業に対する経費 ②補助額 年額100,000円及び老人クラブ連合会に加入する老人クラブ会員1人につき年額40円</p> <p>(3) 老人クラブ活動指導員設置事業費補助金 420千円 ①補助内容 酒田市老人クラブ連合会が設置する老人クラブ活動指導員の人件費の一部 ②補助額 基準月額70,000円又は設置に必要な経費の実支出と比較していずれか少ない額の1/2</p>

事業No.15

■事業コスト

(単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費 (a)	3,437	3,239	2,925
財源内訳			
国支出金			
県支出金	1,433	1,354	1,354
市債			
その他 ()			
受益負担金 (使用料、手数料等)			
一般財源	2,004	1,885	1,571

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
職員数内訳				
正規職員従事者数	人工	0.1	0.1	0.1
再任用職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工			

■成果(活動)指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	文化芸術活動のしやすいまちだと答える市民の割合	%	36.9	34	60	
2	【総】初回要介護認定申請年齢	歳				81.5
3	老人クラブ会員数	人	3,468	3,148	3,764	
4						
5						

事業No.16

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	食習慣改善事業
事務事業名	食習慣改善事業
担当部署名	健康福祉部健康課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本的施策①	2 文化芸術に親しむことができる環境の整備
該当する基本的施策②	4 将来の文化芸術を担う子どもたちの育成
該当する基本的施策③	5 文化芸術を支える人材の育成
該当する基本的施策④	16 伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	食生活改善推進員
3 事業の対象	市民、保育園児、小中学校生徒等
4 事業の目的	栄養改善講座や各種食育教室を開催することにより、さかた健康づくりビジョン【健康さかた21（第3期）】を推進し、健康寿命の延伸を図ること
5 事業内容	<p>(1) 食生活改善推進員の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養成講習会 1コース×10日間 <p>(2) 食生活改善推進員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央研修会 3回×4日間 ・食育研修会 1回×2日間 <p>(3) 市民に対する栄養改善の普及活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座（保育園、小・中学校、企業、地域コメン、自治会ほか） ・健康栄養教室（糖尿病高血圧予防教室、地区健康教室） ・離乳食教室（乳児を持つ保護者など）5回 <p>(4) 食に関する情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページで栄養・食生活に関する情報発信 ・酒田ごはんを各方面へPR ・市広報へ料理掲載

事業No.16

■事業コスト

(単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度	
	当初予算	決算予定	当初予算	
事業費 (a)	3,079	2,073	1,242	
財源内訳	国支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他（酒田ごはん売込代金、講習会参加者負担金）	2,067	1,044	747
	受益負担金（使用料、手数料等）			
一般財源	1,012	1,656	495	

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
正規職員従事者数	人工	4	3.7	4.0
再任用職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工		0.25	

■成果(活動)指標

成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1 文化芸術活動のしやすいまちだと答える市民の割合	%	36.9	34	60	
2 (国民健康保険加入者)対前年増加率 <small>(令和5年～令和9年の)</small>	%				2.7%以下
3 減塩および野菜摂取についての指導延べ人数	人	2,778	集計中	3,000	
4 食生活改善推進員養成講習会修了者	人	12	11	20	

事業No.17

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	さかた農産物販路・消費拡大事業
事務事業名	さかた農産物販路・消費拡大事業
担当部署名	農林水産部農政課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	<都市文化政策> 誇りのもてる酒田らしさの創造 10~20
該当する基本的施策①	16 伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
該当する基本的施策②	18 産業との連携

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	農業者等、認定こども園、保育園、小中学校
3 事業の対象	市民、農業者、園児、小中学生
4 事業の目的	食育の取り組みやP Rなどの実施及び農業者自らが行う販路・消費拡大への取り組みに支援することにより、地産地消及び他産地との差別化・ブランド化の推進による販路・消費の拡大を図る。
5 事業内容	<p>(1) 食育・地産地消推進委員会の開催 141千円 食育・地産地消推進計画の進捗状況の確認や情報交換を通じて今後の展望を協議するとともに、食育活動を紹介する取り組みなどにより広く市民に普及啓発を図り、食育・地産地消を推進する。</p> <p>(2) メロンの日P Rイベントの開催 34千円 7月6日の「庄内砂丘メロンの日」に合わせ、旬を迎える本市特産の庄内砂丘メロンのP Rイベントを開催し消費拡大を図る。</p> <p>(3) 酒田の花づくり応援事業負担金 152千円 酒田産花きの認知度向上、消費拡大に取り組む「花のまち酒田華いっぱいプロジェクト」を支援する。</p> <p>(4) 米消費拡大推進協議会負担金 400千円 酒田産米の利用促進を図る活動等を行う米消費拡大推進協議会を支援する。</p> <p>(5) 農産物販路・消費拡大支援事業費補助金 700千円 農業者等が実施する庄内圏域外での販路・消費拡大に対する取り組みを支援する。 ・新規販路拡大一般コース (経費の1/2以内 上限150千円) ・新規販路拡大女性活躍コース (経費の1/2以内 上限200千円) ・消費拡大活動コース (経費の1/2以内 上限100千円)</p> <p>(6) 食育交流活動サポーター助成金 60千円 認定こども園・保育園児及び、小中学生を対象とした農業体験、調理実習等の食育交流活動に取り組む農業者等を支援する。(1回5千円の定額)</p>

事業No.17

■事業コスト

(単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費(a)	783	522	1,487
財源内訳	国支出金		76
	県支出金		
	市債		
	その他()		
	受益負担金(使用料、手数料等)		
一般財源	783	522	1,411

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
正規職員従事者数	人工	1.5	1.5	1.5
再任用職員従事者数	人工	0.5	0.5	0.5
会計年度任用職員	人工			

■成果(活動)指標

成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1 文化芸術活動に参加した市民の割合	%	27	26.9	33	
2 文化資源について誇りを持っている市民の割合	%	54	48.1	79	
3 食育交流活動の取組件数	件	12	2		

事業No.18

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	いかのまち酒田推進事業
事務事業名	さかた農産物販路・消費拡大事業
担当部署名	農林水産部農林水産課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	<都市文化政策> 誇りのもてる酒田らしさの創造 10~20
該当する基本的施策①	12 多様な分野との連携及びネットワークづくり
該当する基本的施策②	16 伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
該当する基本的施策③	17 観光との連携
該当する基本的施策④	18 産業との連携

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	いかのまち酒田戦略会議
3 事業の対象	市民
4 事業の目的	「いかのまち酒田」の発信による大都市圏への販路拡大及び市内外への浸透による地産地消と交流人口の拡大を図る。併せて県外船誘致対策を強化することにより、本市への水揚げを確保するとともに、イカのブランド価値向上の促進を図ること。
5 事業内容	<p>いか釣り船団出航式とスルメイカをはじめとする農水産物等を地域資源として効果的に活用し、大都市圏への販路拡大や交流人口の拡大、地産地消を推進する。</p> <p>また、イカのブランド化を推進するとともに、安定的なイカの供給に必要な生産量を確保するため、県外船の誘致対策の充実を図る。</p> <p>(1) いか釣り船団出航式や地域資源活用による販路拡大と産地消 6,000千円</p> <p>①「いかのまち酒田」の発信と大都市圏への販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いか釣り船団出航式の開催と大都市圏のバイヤー等との商談会や視察会等による販路の新規開拓。 ・姉妹都市やアンテナショップ等での販売会の実施。 <p>②「いかのまち酒田」の市内外への浸透による地産地消と交流人口拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いか釣り船団出航式の地域資源としての「新化」による交流人口拡大。 ・イカを提供する市内飲食店を増やし、地産地消を推進する。 ・飲食店マップを製作し、SNS等により情報発信し交流人口拡大を図る。 <p>(2) 活イカなどブランド化推進と生産力向上 3,000千円</p> <p>①ブランド化の推進 (500千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活イカの生産・流通システムの整備。 ・スルメイカだけでなく、数種類のイカの有効的活用による「いかのまち酒田」の発信。 <p>②安定的な生産の確保 (2,500千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外の中型及び小型いか釣り漁船を誘致するための各種支援について、山形県漁業協同組合との連携により実施。 ・酒田港への入港回数や水揚量により、船上食糧支援として酒田産米を提供。

事業No.18

■事業コスト (単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費 (a)			9,000
財源内訳	国支出金		2,831
	県支出金		
	市債		
	その他 ()		2,000
	受益負担金 (使用料、手数料等)		
一般財源			4,169

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
職員数内訳				
正規職員従事者数	人工			0.5
再任用職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工			

■成果(活動)指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	文化芸術活動に参加した市民の割合	%	27	26.9	33	
2	文化資源について誇りを持っている市民の割合	%	54	48.1	79	
3	市内水揚金額	百万円	930	792 (R5.1月末現在)	1,200	1,200
4	うちスルメイカ水揚金額(令和9)	百万円	595	719 (R5.1月末現在)	700	700
5	酒田港のスルメイカ水揚量(船凍・一本釣)	トン	873	792 (R5.1月末現在)	800	

事業No.19

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	小中一貫教育推進事業
事務事業名	演劇ワークショップ
担当部署名	教育委員会学校教育課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本的施策①	3 学校教育における文化芸術活動の充実
該当する基本的施策②	4 将来の文化芸術を担う子どもたちの育成

■事業の概要

1 事業の実施主体	市(教育委員会)
2 協働の相手方	市内小学校(1校)
3 事業の対象	小学生
4 事業の目的	小中一貫教育を通して、教員の指導力の向上を図るとともに、本市の教育課題を改善し教育の質を高めることにより、児童生徒の社会の変化に対応できる確かな学力を育成すること。
5 事業内容	<p>演劇ワークショップの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自律する力、尊重する力、創造する力などの非認知能力の向上を目的とした演劇ワークショップを小学校1校で実施する。 ・実践の資料をまとめ、他の学校での実施を推進する。

事業No.19

■事業コスト

(単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費 (a)			400
財源内訳	国支出金		
	県支出金		
	市債		
	その他 ()		
	受益負担金 (使用料、手数料等)		
一般財源			400

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
正規職員従事者数	人工			0.4
再任用職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工			

■成果(活動)指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	子どもたちの文化芸術に触れる機会に対する満足度	%	20.3	18.2	37	
2	実施校	校			1	
3	標準学力検査における全国標準以上の教科の割合	%	小学校:100% 中学校:73.3%	小学校:100% 中学校:53.3%	全教科上回る	全教科上回る
5						

事業No.20

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	文化活動重点事業
事務事業名	文化活動重点事業
担当部署名	教育委員会学校教育課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本的施策①	3 学校教育における文化芸術活動の充実
該当する基本的施策②	4 将来の文化芸術を担う子どもたちの育成
該当する基本的施策③	
該当する基本的施策④	

■事業の概要

1 事業の実施主体	市(教育委員会)
2 協働の相手方	市内小中学校
3 事業の対象	小中学生
4 事業の目的	音楽活動の活性化とその理解及び普及を目指し、豊かな感性を育む教育活動を一層充実し、児童生徒の健やかな成長を図る。
5 事業内容	市内の希望する中学校が行う次の活動の支援する。 ①中学校における吹奏楽合同演奏会の実施 ②外部講師招聘による中学校の合唱活動の充実

事業No.20

■事業コスト (単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費 (a)	488	356	452
財源内訳	国支出金		
	県支出金		
	市債		
	その他 ()		
	受益負担金 (使用料、手数料等)		
一般財源	488	356	452

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
正規職員従事者数	人工	0.3	0.3	0.3
再任用職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工			

■成果(活動)指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	子どもたちの文化芸術に触れる機会に対する満足度	%	20.3	18.2	37	
2	実施校	校	小学校7校 中学校2校	中学校6校	中学校7校	中学校7校
3						
4						
5						

事業No.21

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	
事務事業名	小学生観劇教室
担当部署名	教育委員会学校教育課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本的施策①	3 学校教育における文化芸術活動の充実
該当する基本的施策②	4 将来の文化芸術を担う子どもたちの育成
該当する基本的施策③	
該当する基本的施策④	

■事業の概要

1 事業の実施主体	市(教育委員会)、(財)舞台芸術センター
2 協働の相手方	小学校
3 事業の対象	小学6年生
4 事業の目的	「やさしく豊かな心」、「友情と助け合い」、「夢や希望を持って生きることの大切さ」などについて舞台から直接訴えかけることにより道徳・情操教育に寄与するとともに、優れた演劇に触れるきっかけをつくり、明日への活力を生み出し、児童の健やかな成長を図る。
5 事業内容	(1) 作品 劇団四季ミュージカル『エルコスの祈り』 (2) 日時 令和5年10月4日(水) (3) 場所 酒田市民会館「希望ホール」 (4) 参加者 鑑賞希望の酒田市立小学校 6年生児童 (5) その他 各校とも児童の移動はバスを利用し、この費用について参加児童が負担(今年度一人あたり700円までの負担を予定。元年度は582円。) ※ただし、要保護児童の費用分については市費で負担する。また、準要保護児童、特別支援学級児童については、後日、就学援助費あるいは特別支援教育就学奨励費として請求していただき限度額まで支給する。

事業No.21

■事業コスト (単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費(a)	0	0	0
財源内訳	国支出金		
	県支出金		
	市債		
	その他()		
	受益負担金(使用料、手数料等)		
一般財源			0

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
正規職員従事者数	人工	0.2	0.2	0.2
再任用職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工			

■成果(活動)指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	子どもたちの文化芸術に触れる機会に対する満足度	%	20.3	18.2	37	
2	実施校	校	中止	中止	小21校	

事業No.22

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	生涯学習振興総務管理事業
事務事業名	生涯学習施設「里仁館」運営支援
担当部署名	教育委員会社会教育課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本的施策①	2 文化芸術に親しむことができる環境の整備
該当する基本的施策②	4 将来の文化芸術を担う子どもたちの育成
該当する基本的施策③	5 文化芸術を支える人材の育成
該当する基本的施策④	11 文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化

■事業の概要

1 事業の実施主体	市(教育委員会)
2 協働の相手方	生涯学習施設「里仁館」
3 事業の対象	庄内地域に住む住民
4 事業の目的	大人から子どもまで自ら学び楽しむことのできる学習の場として、松山里仁館高校の施設を活用し、里仁を理念とする心豊かで美風のある人材育成と活力ある地域づくりに寄与することを目的とした生涯学習施設「里仁館」の運営を補助し、庄内全体の生涯学習を推進する。
5 事業内容	<p>(1) 庄内地域住民を対象とした各種生涯学習事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里仁講座（歴史・自然・文学・民俗・郷土文化・人物） 庄内藩と支藩松山藩・ジオツアーに出かけよう ほか ・教養講座（健康・教養・文学・人物・趣味） 元気だのう・漢詩をよむ・庄内写真紀行 ほか ・親子講座（小中学生講座・小学生講座） 親子わくわくサタデー・すごいね庄内！CoolShonai！ <p>(2) 施設開放による各種学習サークル活動の支援</p> <p>里仁スポーツ・かわい植物絵の会・里仁館コーラス・琴サークル里音会</p>

事業No.22

■事業コスト

(単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費 (a)	6,609	6,609	6,137
財 源 内 訳	国支出金		
	県支出金		
	市債		
	その他 ()		
	受益負担金 (使用料、手数料等)		
一般財源	6,609	6,609	6,137

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
職員数内訳				
正規職員従事者数	人工	0.1	0.1	0.1
再任用短時間職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工			

■成果(活動)指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	文化芸術活動に参加した市民の割合	%	27	26.9	33	33
2	子どもたちの文化芸術に触れる機会に対する満足度	%	20.3	18.2	37	
3	利用人数 (主催講座)	人	1,601	1,824	2,070	

事業No.23

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	生涯学習推進講座開催事業
事務事業名	酒田愛ごはん
担当部署名	教育委員会社会教育課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本的施策①	2 文化芸術に親しむことができる環境の整備
該当する基本的施策②	4 将来の文化芸術を担う子どもたちの育成
該当する基本的施策③	5 文化芸術を支える人材の育成
該当する基本的施策④	11 文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化

■事業の概要

1 事業の実施主体	市(教育委員会)
2 協働の相手方	
3 事業の対象	市民
4 事業の目的	酒田市周辺地域の在来野菜や伝統料理を学び、食文化や郷土愛への愛着を育む。
5 事業内容	<p>○親子向け講座 【講座時期】秋(10月~11月)に2回連続 1回目: 平田赤ネギ(調理・実食はひらたタウンセンター) 2回目: 鮭翅上(調理・実食は西荒瀬コミュニティセンター) 上記2カ所が難しい場合、代替案として庄内柿も検討する。</p> <p>○成人向け講座 【講座時期】5~7月(もしくは5~6月)に3回連続 1回目: (在来野菜) ウコギ、うるい 2回目: (伝統料理) マスのあんかけうどん、卵寒天、孟宗汁、笹巻 3回目: (圃場見学) 鶴渡川原キュウリ</p>

事業No.23

■事業コスト

(単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費(a)	41	41	41
財 源 内 訳	国支出金		
	県支出金		
	市債		
	その他()		
	受益負担金(使用料、手数料等)		
一般財源	41	41	41

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
正規職員従事者数	人工	0.2	0.2	0.2
再任用短時間職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工	0.2	0.2	0.2

■成果(活動)指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	文化芸術活動に参加した市民の割合	%	27	26.9	33	
2	受講者数	人	8	12	4組 14人	20
3	延べ参加者数	人	22	50	58	100
4	講座回数	回	3	5	5	5

事業No.24

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	生涯学習推進講座開催事業
事務事業名	マリージュニア合唱団の運営
担当部署名	教育委員会社会教育課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本的施策①	2 文化芸術に親しむことができる環境の整備
該当する基本的施策②	4 将来の文化芸術を担う子どもたちの育成
該当する基本的施策③	5 文化芸術を支える人材の育成
該当する基本的施策④	11 文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化

■事業の概要

1 事業の実施主体	市(教育委員会)
2 協働の相手方	
3 事業の対象	小中学生
4 事業の目的	音楽を楽しめる子どもをたくさん増やし、音楽文化を未来につなげていくとともに、異年齢さらに学校を超えた活動を通して、子供健全育成につなげていく。
5 事業内容	5月~3月 通常練習(月2回程度) 【予定公演】 ユネスコ童謡を歌う会 定期演奏会 (コロナ禍前は、老人施設等での演奏会もあり) 【保護者会活動】 クリスマス会等

事業No.24

■事業コスト

(単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費(a)	328	282	134
財 源 内 訳	国支出金		
	県支出金		
	市債		
	その他()		
	受益負担金(使用料、手数料等)		
一般財源	328	282	134

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度	
		当初予算	決算	当初予算	
職員数内訳	正規職員従事者数	人工	0.1	0.1	0.1
	再任用短時間職員従事者数	人工			
	会計年度任用職員	人工	0.8	0.8	未定

■成果(活動)指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	文化芸術活動に参加した市民の割合	%	27	26.9	33	
2	子どもたちの文化芸術に触れる機会に対する満足度	%	20.3	18.2	37	
3	講座回数	回	26	35	20	

事業No.25

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	生涯学習推進講座開催事業
事務事業名	地域人材交流講座
担当部署名	教育委員会社会教育課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本的施策①	2 文化芸術に親しむことができる環境の整備
該当する基本的施策②	4 将来の文化芸術を担う子どもたちの育成
該当する基本的施策③	5 文化芸術を支える人材の育成
該当する基本的施策④	11 文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化

■事業の概要

1 事業の実施主体	市(教育委員会)
2 協働の相手方	小中学校、地域の方々
3 事業の対象	小中学生
4 事業の目的	小中学校において、地域で専門的な知識や技能を有する地域の人材（以下「地域指導者」）を生かした学習を展開し、学習活動における児童生徒の学習意欲や実践意欲の高揚を図り、地域と学校を結びつけ郷土愛を醸成する。
5 事業内容	各学校で、クラブ活動や総合学習等で講師を地域指導者にお願した際の謝礼(図書カード2,000/人・回)補助。 【クラブ活動の事例】 茶道、光丘彫り、水彩画、天狗舞・獅子舞、傘福づくり、習字、酒田光丘彫り、邦楽楽器演奏、茶道、日本文化、生け花、郷土料理など 【学級活動・総合の事例】 読み聞かせ、地域の伝統野菜、新井田川の学習、米作りについて、黒森歌舞伎の歴史、大黒舞の指導、SDG sについて

事業No.25

■事業コスト

(単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費 (a)	540	538	580
財源内訳	国支出金		
	県支出金		
	市債		
	その他 ()		
	受益負担金 (使用料、手数料等)		
一般財源	540	538	580

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
正規職員従事者数	人工			
再任用短時間職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工	0.2	0.2	0.2

■成果(活動)指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	文化芸術活動に参加した市民の割合	%	27	26.9	33	
2	子どもたちの文化芸術に触れる機会に対する満足度	%	20.3	18.2	37	
3	延べ参加者数	人		12,181	13,000	13,000
4	実施校		25/29	25/28	28/28	28/28
5	実施回数		277	269	290	290
6						

事業No.26

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	生涯学習推進講座開催事業
事務事業名	酒田文化伝承シリーズ講座
担当部署名	教育委員会社会教育課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本的施策①	2 文化芸術に親しむことができる環境の整備
該当する基本的施策②	4 将来の文化芸術を担う子どもたちの育成
該当する基本的施策③	5 文化芸術を支える人材の育成
該当する基本的施策④	11 文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化

■事業の概要

1 事業の実施主体	市(教育委員会)
2 協働の相手方	事業者
3 事業の対象	小中学生
4 事業の目的	酒田の伝統文化に触れる機会を提供し、興味・関心をもってもらうとともに郷土愛を育む
5 事業内容	R3「雅☆酒田芸妓の世界をのぞいてみよう講座」全2回講座 1回目 酒田芸妓、舞娘の歴史について講話、所作事体験（浴衣の着付け、姿勢、三味線体験） 2回目 芸妓、舞娘のお仕事見学、浴衣着付け体験、相馬楼の施設見学、舞娘演舞鑑賞 R4「絵ろうそくの世界をのぞいてみよう」全1回講座 絵ろうそくの歴史やろうそくの原材料の移り変わり等について講話、ろうそくの絵付け体験 R5未定

事業No.26

■事業コスト

(単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費 (a)	22	10	22
財 源 内 訳	国支出金		
	県支出金		
	市債		
	その他 ()		
	受益負担金 (使用料、手数料等)		
一般財源	22	10	22

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
職員数内訳	正規職員従事者数	人工		
	再任用短時間職員従事者数	人工		
	会計年度任用職員	人工	0.2	0.2

■成果(活動)指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	文化芸術活動に参加した市民の割合	%	27	26.9	33	
2	子どもたちの文化芸術に触れる機会に対する満足度	%	20.3	18.2	37	
3	延べ参加者数	人	13	8	15	20

事業No.27

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	生涯学習推進講座開催事業
事務事業名	①幼児すてっぷ出前講座②親子ですくすく出前講座
担当部署名	教育委員会社会教育課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本的施策①	2 文化芸術に親しむことができる環境の整備
該当する基本的施策②	4 将来の文化芸術を担う子どもたちの育成
該当する基本的施策③	5 文化芸術を支える人材の育成
該当する基本的施策④	11 文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化

■事業の概要

1 事業の実施主体	市(教育委員会)
2 協働の相手方	保育園、認定こども園、幼稚園
3 事業の対象	園児、保護者
4 事業の目的	①幼児期に「遊び」を通して人間形成の基礎を培うことを目的としている。 ②親子でのふれあい体験や保護者の学ぶ機会の提供を行い、家庭教育支援の充実を図る。
5 事業内容	各園から実施メニューを選択してもらい、講師派遣を行う。 ①幼児すてっぷ出前講座 【対象】園児 【メニュー】紙芝居、チアダンス、積み木ワークショップ ②親子ですくすく出前講座 【対象】園児と保護者 【メニュー】ネイチャーゲーム、フィットネス教室、しかけカード作り、トランスパレント(工作)、絵本作り、リトミック、園独自決定コース(陶芸等)

事業No.27

■事業コスト

(単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費(a)	439	296	426
国支出金	87	40	102
県支出金	87	40	102
市債			
その他()			
受益負担金(使用料、手数料等)			
一般財源	265	216	222

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
正規職員従事者数	人工			
再任用短時間職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工	0.6	0.6	0.6

■成果(活動)指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	文化芸術活動に参加した市民の割合	%	27	26.9	33	
2	子どもたちの文化芸術に触れる機会に対する満足度	%	20.3	18.2	37	
3	①参加園	園	11	17	12	
4	②参加園	園	7	14	28	
5	①参加者数	人	630	619		
6	②参加者数	人	227	439		

事業No.28

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	生涯学習推進講座開催事業
事務事業名	地域力向上スキルアップ講座
担当部署名	教育委員会社会教育課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本的施策①	5 文化芸術を支える人材の育成
該当する基本的施策②	7 地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
該当する基本的施策③	11 文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
該当する基本的施策④	

■事業の概要

1 事業の実施主体	市(教育委員会)
2 協働の相手方	
3 事業の対象	コミュニティ振興会職員、自治会職員
4 事業の目的	各地域の特色を生かした社会教育事業の推進のため、コミュニティ振興会の職員等の地域人材育成を図る。
5 事業内容	<p>①テーマ これからの社会に対応した持続可能な地位活動を求めて～参加型学習の意義と熟議の実際～</p> <p>②講師 秋田県生涯学習センター社会教育主事、秋田大学非常勤講師 皆川 雅仁 氏</p> <p>③内容 ・講話 ・模擬熟議 (ワークショップ)</p>

事業No.28

■事業コスト

(単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費 (a)	30	30	30
財 源 内 訳	国支出金		
	県支出金		
	市債		
	その他 ()		
	受益負担金 (使用料、手数料等)		
一般財源	30	30	30

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
正規職員従事者数	人工			
再任用短時間職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工	0.30	0.30	0.3

■成果(活動)指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	文化芸術活動に参加した市民の割合	%	27	26.9	33	
2	文化芸術活動のしやすいまちだと答える市民の割合	%	36.9	34	60	
3	参加コミュニティ振興会数	振興会	14	11	18	
4	参加者数	人	19	12	20	

事業No.29

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	生涯学習施設管理運営事業
事務事業名	生涯学習施設管理運営事業
担当部署名	教育委員会社会教育課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	<都市文化政策> 誇りのもてる酒田らしさの創造 10~20
該当する基本的施策①	1 文化芸術活動を行う環境の整備
該当する基本的施策②	2 文化芸術に親しむことができる環境の整備
該当する基本的施策③	11 文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
該当する基本的施策④	15 文化施設の活用

■成果(活動)指標

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	
3 事業の対象	市民
4 事業の目的	生涯学習施設の適切な管理運営を行い、安全で使いやすい(ニーズにあった)施設管理を行うことで、市民の社会教育、生涯学習の推進を図る。
5 事業内容	生涯学習施設(総合文化センター、清亀園、出羽遊心館、天体観測館、公益研修センター、ひらた生涯学習センター、ひらた農村コミュニティカレッジ、八森窯体験学習施設)の管理運営

事業No.29

■事業コスト (単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度	
	当初予算	決算予定	当初予算	
事業費(a)	167,976	155,771	138,578	
財源内訳	国支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他()	2,846	729	1,251
	受益負担金(使用料、手数料等)	16,708	9,606	10,256
一般財源	148,422	145,436	127,071	

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度	
		当初予算	決算	当初予算	
職員数内訳	正規職員従事者数	人工	2.5	2.5	2.5
	再任用短時間職員従事者数	人工			
	会計年度任用職員	人工	4.0	4.0	4.0

■成果指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	文化芸術活動のしやすいまちだと答える市民の割合	%	36.9	34	60	
2	文化施設に行ったことのある市民の割合	%	54	48.1	79	

事業No.30

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	ミライニ管理運営事業
事務事業名	ミライニ管理運営事業
担当部署名	教育委員会社会教育課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	<都市文化政策> 誇りのもてる酒田らしさの創造 10~20
該当する基本的施策①	1 文化芸術活動を行う環境の整備
該当する基本的施策②	2 文化芸術に親しむことができる環境の整備
該当する基本的施策③	11 文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
該当する基本的施策④	12 多様な分野との連携及びネットワークづくり

■成果(活動)指標

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	株式会社図書館流通センター (指定管理者)
3 事業の対象	市民
4 事業の目的	市民の多様な活動及び学習機会を創出し、交流促進と中心市街地の活性化を図ることにより、知(地)の拠点としての図書館機能を拡充すること
5 事業内容	<p>指定管理者制度導入による酒田駅前交流拠点施設ミライニ及び酒田市民立図書館の管理、事業運営等を行う。</p> <p><指定管理者R5年度事業計画より抜粋></p> <p>1. にぎわい創出検証事業・・・</p> <p>(1) Art①駅前アートイベント②音楽・ダンスイベント、</p> <p>(2) Sport & Health、</p> <p>(3) Local Promotion</p> <p>2. 協働創出事業・・・(1)アカデミー(2)withサポーター</p> <p>3. 学びの楽しみ創出事業・・・</p> <p>(1)workshop①子ども・親子対象②高校生～成人対象 ③英語で遊ぼう</p> <p>(2)酒田発信①ミライニフォトコンテスト</p> <p>4. 図書館&観光案内所事業・・・</p> <p>(1)市立図書館事業：土曜お話し会ほか子ども読書推進計画を基にした事業</p> <p>(2)観光案内所事業①観光案内所FUNFAN CLAB②まち歩き体験</p> <p>5. 自主事業・・・</p> <p>①映画上映会②団体・企業支援型イベント</p>

事業No.30

■事業コスト (単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度	
	当初予算	決算予定	当初予算	
事業費 (a)	307,422	300,000	312,617	
財源内訳	国支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他 (地域づくり基金繰入金ほか)	206,000	206,000	200,313
	受益負担金 (使用料、手数料等)	11,122	11,122	10,365
一般財源	90,300	82,878	101,939	

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
正規職員従事者数	人工	4	3	3
再任用短時間職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工			

■成果指標

成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1 文化芸術活動のしやすいまちだと答える市民の割合	%	36.9	34	60	
2 文化資源について誇りを持っている市民の割合	%	54	48.1	79	
3 【総】人口1人当たりの図書館入館回数	回	2.19	(集計中)	増加させる	増加させる
4 【個】人口1人当たりの館外貸出冊数	冊	3.85	(集計中)	増加させる	
5 【個】ミライニの年間入館者数40万人	人	図書館R4.5.5開館、グランドオープン7.31	444,711 (R4.5~R5.2)	400,000	
6 図書館の新規登録者	人	777	2,201 (R4.5~R5.2)	増加させる	
7 ミライニを活用した企画事業の実施回	人	図書館R4.5.5開館、グランドオープン7.31	(集計中) 例) R5.2のイベント回数7回、ほか図書館企画展示等	平均月1回以上	

事業No.31

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	光丘文庫管理事業
事務事業名	光丘文庫管理事業
担当部署名	企画部文化政策課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	<都市文化政策> 誇りのもてる酒田らしさの創造 10~20
該当する基本的施策①	1 文化芸術活動を行う環境の整備
該当する基本的施策②	13 文化財等の地域資源の活用
該当する基本的施策③	15 文化施設の活用

■成果(活動)指標

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	
3 事業の対象	市民
4 事業の目的	光丘文庫の運営管理及び旧光丘文庫の施設管理を適切に行い、利用者にとって利便性のよい施設運営を図るもの
5 事業内容	①光丘文庫の管理・運営（文化資料館（仮称）開館準備に伴い、令和5年9月30日までの開館期間とする。） ②光丘文庫資料データベース、デジタルアーカイブの適切な管理運営 ③旧光丘文庫の施設管理 ④館報「光丘」発行

事業No.31

■事業コスト (単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費 (a)	2,153	2,153	2,257
財源内訳			
国支出金			
県支出金			
市債			
その他 ()	23	23	23
受益負担金 (使用料、手数料等)			
一般財源	2,130	2,130	2,234

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
職員数内訳				
正規職員従事者数	人工	0.5	0.5	0.5
再任用職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工			

■成果指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	文化芸術活動のしやすいまちだと答える市民の割合	%	36.9	34	60	
2	文化資源について誇りを持っている市民の割合	%	54	48.1	79	

事業No.32

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	文化財保護総務管理事業
事務事業名	国指定文化財管理事業費補助
担当部署名	企画部文化政策課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	<都市文化政策> 誇りのもてる酒田らしさの創造 10~20
該当する基本的施策①	1 文化芸術活動を行う環境の整備
該当する基本的施策②	13 文化財等の地域資源の活用

■成果(活動)指標

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	本間美術館、総光寺
3 事業の対象	市民
4 事業の目的	国指定文化財である名勝庭園の荒廃を防止するため
5 事業内容	酒田市文化財保存活動支援事業費補助金として国指定名勝本間氏別邸庭園(鶴舞園)、総光寺庭園管理を山形県国指定文化財管理費補助金の随伴として支援している。

事業No.32

■事業コスト

(単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費(a)	586	586	460
財源内訳	国支出金		
	県支出金		
	市債		
	その他()		
	受益負担金(使用料、手数料等)		
一般財源	586	586	460

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度	
		当初予算	決算	当初予算	
職員数内訳	正規職員従事者数	人工	0.2	0.2	0.2
	再任用職員従事者数	人工			
	会計年度任用職員	人工			

■成果指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	文化芸術活動のしやすいまちだと答える市民の割合	%	36.9	34	60	
2	文化資源について誇りを持っている市民の割合	%	54	48.1	79	

事業No.33

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	文化財保護総務管理事業
事務事業名	文化財保存活動支援補助
担当部署名	企画部文化政策課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	<都市文化政策> 誇りのもてる酒田らしさの創造 10~20
該当する基本的施策①	2 文化芸術に親しむことができる環境の整備
該当する基本的施策②	5 文化芸術を支える人材の育成
該当する基本的施策③	13 文化財等の地域資源の活用

■成果(活動)指標

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	酒田市民俗芸能保存会、松山藩荻野流砲術伝承保存会
3 事業の対象	市民
4 事業の目的	申請団体の民俗芸能の伝承、技術の継承の機会が確保されるため
5 事業内容	酒田市文化財保存活動支援事業費補助金として酒田市民俗芸能保存会と松山藩荻野流砲術伝承保存会の活動を支援している。

事業No.33

■事業コスト

(単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費 (a)	184	184	200
財源内訳	国支出金		
	県支出金		
	市債		
	その他 ()		
	受益負担金 (使用料、手数料等)		
一般財源	184	184	200

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度	
		当初予算	決算	当初予算	
職員数内訳	正規職員従事者数	人工	0.2	0.2	0.2
	再任用職員従事者数	人工			
	会計年度任用職員	人工			

■成果指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	文化芸術活動のしやすいまちだと答える市民の割合	%	36.9	34	60	
2	文化資源について誇りを持っている市民の割合	%	54	48.1	79	

事業No.34

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	文化財保護総務管理事業
事務事業名	黒森歌舞伎酒田公演及び松山能公演委託
担当部署名	企画部文化政策課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	<都市文化政策> 誇りのもてる酒田らしさの創造 10~20
該当する基本的施策①	2 文化芸術に親しむことができる環境の整備
該当する基本的施策②	5 文化芸術を支える人材の育成
該当する基本的施策③	13 文化財等の地域資源の活用

■成果(活動)指標

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	黒森歌舞伎妻堂連中、松山能「松諷社」
3 事業の対象	市民
4 事業の目的	黒森歌舞伎と松山能の伝承のために公演の機会と広く市民より鑑賞してもらう機会を創出するため
5 事業内容	黒森歌舞伎の酒田市民会館「希望ホール」での公演と松山能の大寒能での公演を委託

事業No.34

■事業コスト (単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費 (a)	520	520	520
財 源 内 訳	国支出金		
	県支出金		
	市債		
	その他 (県交付金)	150	150
	受益負担金 (使用料、手数料等)		
一般財源	370	370	520

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度	
		当初予算	決算	当初予算	
職員数内訳	正規職員従事者数	人工	1.0	1.0	1.0
	再任用職員従事者数	人工			
	会計年度任用職員	人工			

■成果指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	文化芸術活動のしやすいまちだと答える市民の割合	%	36.9	34	60	
2	文化資源について誇りを持っている市民の割合	%	54	48.1	79	
3	文化芸術活動を鑑賞した市民の割合	%	30.9	41	43	

事業No.35

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	文化財施設管理運営事業
事務事業名	文化財施設管理運営事業
担当部署名	企画部文化政策課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	<都市文化政策> 誇りのもてる酒田らしさの創造 10~20
該当する基本的施策①	1 文化芸術活動を行う環境の整備
該当する基本的施策②	13 文化財等の地域資源の活用
該当する基本的施策③	15 文化施設の活用

■成果(活動)指標

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	田沢コミセン、山寺コミセン、シルバー人材センター
3 事業の対象	市民
4 事業の目的	地域の貴重な財産であり観光資源でもある文化財について、関係機関と連携しながら、地域の活力を生かし有効な保存及び活用を図るとともに、文化財等の利活用を通じて、市民が文化財保護への理解を深められるよう、環境整備を行う。
5 事業内容	国指定史跡文化財（旧鑑屋、山居倉庫）、市指定文化財（旧白崎医院、旧阿部家）、文化財施設（資料館、松山文化伝承館、旧鳥海小、阿部記念館）の利活用・維持管理。

事業No.35

■事業コスト (単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費 (a)	17,149	17,149	58,651
財源内訳	国支出金		
	県支出金		
	市債		
	その他(基金)		12,982
	受益負担金(使用料、手数料等)	599	599
一般財源	16,550	16,550	45,208

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
正規職員従事者数	人工	1.5	1.5	1.5
再任用職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工			

■成果指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	文化芸術活動のしやすいまちだと答える市民の割合	%	36.9	34	60	
2	文化資源について誇りを持っている市民の割合	%	54	48.1	79	

事業No.36

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	史跡旧鎧屋修復事業
事務事業名	史跡旧鎧屋修復事業
担当部署名	企画部文化政策課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	<都市文化政策> 誇りのもてる酒田らしさの創造 10~20
該当する基本的施策①	1 文化芸術活動を行う環境の整備
該当する基本的施策②	13 文化財等の地域資源の活用
該当する基本的施策③	15 文化施設の活用

■成果(活動)指標

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	指導委員会
3 事業の対象	市民
4 事業の目的	国指定史跡「旧鎧屋」は、修理工事から20年が経過したことから、雨漏りや耐震性がなく地震で倒壊の恐れもあるため、修復工事（屋根の大規模修繕及び耐震補強工事）を実施する。
5 事業内容	文化庁と有識者から構成される指導委員会の指導を受けながら、R5年度は屋根萱替工事等行う。(H28年度~R7年度(予定)事業) 令和5年度 直接仮設工事、屋根工事、木工事、西側下屋軸組補修 令和6年度(予定) 屋根工事、耐震補強工事、木工事、電気設備工事、機械設備工事 令和7年度(予定) 直接仮設工事、木工事、左官工事、電気設備工事、機械設備工事、

事業No.36

■事業コスト

(単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費(a)	41,414	41,414	45,142
財源内訳			
国支出金	20,161	20,161	22,025
県支出金	1,249	1,249	1,784
市債	16,100	16,100	18,000
その他()	1,000	1,000	200
受益負担金(使用料、手数料等)			
一般財源	2,904	2,904	3,133

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
職員数内訳				
正規職員従事者数	人工	0.5	0.5	0.5
再任用職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工			

■成果指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	文化芸術活動のしやすいまちだと答える市民の割合	%	36.9	34	60	
2	文化資源について誇りを持っている市民の割合	%	54	48.1	79	

事業No.37

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	文化資料館(仮称)整備事業
事務事業名	文化資料館(仮称)整備事業
担当部署名	企画部文化政策課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	<都市文化政策> 誇りのもてる酒田らしさの創造 10~20
該当する基本的施策①	1 文化芸術活動を行う環境の整備
該当する基本的施策②	15 文化施設の活用

■成果(活動)指標

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	
3 事業の対象	市民
4 事業の目的	資料館・光丘文庫・公文書館・市史編纂の機能を持つ「過去にあった酒田の出来事（行政を含む）や文化を未来に伝えるための総合施設」を整備することにより、貴重な史資料を次世代に伝承するとともに郷土愛にあふれた人材を育成すること。
5 事業内容	令和6年度オープンに向けて、令和5年度は改修工事及び資料館、光丘文庫等からの資料移転と新施設への収納、開館準備を行う。(旧中央図書館跡地 総合文化センター内) R5年度 改修工事 R6年度オープン予定

事業No.37

■事業コスト (単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費 (a)	6,226	5,940	155,631
国支出金	3,113	2,970	70,650
県支出金			0
市債	2,800	2,600	63,500
その他 ()			
収益負担金 (使用料、手数料等)			
一般財源	313	370	21,481

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
正規職員従事者数	人工	0.5	0.5	0.5
再任用職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工			

■成果指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	文化芸術活動のしやすいまちだと答える市民の割合	%	36.9	34	60	
2	文化資源について誇りを持っている市民の割合	%	54	48.1	79	

事業No.38

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	市民会館施設管理事業
事務事業名	市民会館施設管理事業
担当部署名	企画部文化政策課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本的施策①	1 文化芸術活動を行う環境の整備
該当する基本的施策②	15 文化施設の活用
該当する基本的施策③	
該当する基本的施策④	

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	
3 事業の対象	市民
4 事業の目的	酒田市民会館を運営することにより、多様な公演を通じた文化芸術活動の場と芸術鑑賞の機会を創出し、文化芸術活動を推進すること。
5 事業内容	<p>○業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷温水発生機気密不良特定点検等業務委託 ・舞台等管理雲煙業務委託 <p>ほか、施設管理に必要な各業務委託</p> <p>○修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送風機修繕 ・ガス緊急遮断弁等分解整備修繕 <p>ほか、現在不具合が発生している箇所及び緊急的な対応が必要な個所の修繕</p> <p>○備品購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トランシーバー

事業No.38

■事業コスト (単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度	
	当初予算	決算予定	当初予算	
事業費 (a)	119,755	133,083	128,737	
財源内訳	国支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他 (繰入金ほか)	2,419	6,086	112
	受益負担金 (使用料、手数料等)	11,937	8,576	9,758
一般財源	105,399	118,421	118,867	

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度	
		当初予算	決算	当初予算	
職員数内訳	正規職員従事者数	人工	1.0	1.0	1.0
	再任用職員従事者数	人工			
	会計年度任用職員	人工			

■成果(活動)指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	文化芸術活動のしやすいまちだと答える市民の割合	%	36.9	34.0	60.0	
2	文化施設に行ったことのある市民の割合	%	74.0	66.3	90.0	
3	文化芸術活動を鑑賞した市民の割合	%	30.9	41.0	43.0	
4	酒田市民会館利用者数	人	43,803	63,536	70,000	

事業No.39

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	スクールプログラム実施事業
事務事業名	スクールプログラム実施事業
担当部署名	企画部文化政策課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	<都市文化政策> 誇りのもてる酒田らしさの創造 10~20
該当する基本的施策①	2 文化芸術に親しむことができる環境の整備
該当する基本的施策②	3 学校教育における文化芸術活動の充実
該当する基本的施策③	4 将来の文化芸術の担い手の育成
該当する基本的施策④	15 文化施設の活用
該当する基本的施策⑤	19 組織体制の強化

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	公益財団法人さかた文化財団、市内小中学校
3 事業の対象	市内小中学生
4 事業の目的	授業の一環として土門拳記念館及び酒田市美術館におけるスクールプログラムを構築し、多様性に対応した人材の育成を目指す。
5 事業内容	令和3年度から実施し、令和5年度で3か年目となる。市内小中学校の児童生徒を対象に、授業の一環で土門拳記念館や酒田市美術館を訪れ、本物に触れる機会を創出する。プログラム内容は、両館学芸員、各学校の教職員及び教職員退職者らで検討し作成する。 ・研修会の実施（2回） ・プログラム実施協力員謝金（石の会ほか）

事業No.39

■事業コスト (単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費 (a)	449	128	319
財源内訳	国支出金		
	県支出金		
	市債		
	その他 ()		
	受益負担金 (使用料、手数料等)		
一般財源	449	128	319

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
職員数内訳	正規職員従事者数	人工		
	再任用職員従事者数	人工	0.2	0.2
	会計年度任用職員	人工		

■成果(活動)指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	文化芸術活動に参加した市民の割合	%	36.9	34.0	60.0	
2	子どもたちの文化芸術に触れる機会に対する満足度	%	20.3	18.2	37.0	
3	スクールプログラム参加校数	校	20	16	20	

事業No.40

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	庄内文化賞・阿部次郎文化賞顕彰事業
事務事業名	庄内文化賞・阿部次郎文化賞顕彰事業
担当部署名	企画部文化政策課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本的施策①	5 文化芸術を支える人材の育成
該当する基本的施策②	

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	庄内文化賞及び阿部次郎文化賞選考会
3 事業の対象	・庄内地方に居住するもので学術、美術、音楽、演劇、舞踊等の活動において、優れた成果を上げた個人又は団体 ・阿部次郎に関する研究において実績の顕著なもの 等
4 事業の目的	庄内地方の文化及び芸術の振興に寄与すること。
5 事業内容	<p>●庄内文化賞 芸術、学術分野での活動において優れた成果を上げた庄内地方在住の個人または団体に対して授与し、庄内地方の芸術、文化の振興に寄与することを目的に昭和54年に制定した。令和5年度は第45回となる。</p> <p>●阿部次郎文化賞 本市出身の哲学者阿部次郎の学者、教育者としての偉大な業績を記念するとともに、庄内地方の文化向上に寄与することを目的に昭和59年に旧松山町が制定した。令和5年度は第40回となる。</p>

事業No.40

■事業コスト

(単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度	
	当初予算	決算予定	当初予算	
事業費 (a)	1,238	701	603	
財源内訳	国支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他 (教育振興基金繰入金)	1,238	701	603
	受益負担金 (使用料、手数料等)			
一般財源	0	0	0	

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
職員数内訳				
正規職員従事者数	人工			
再任用職員従事者数	人工	0.1	0.1	0.1
会計年度任用職員	人工			

■成果(活動)指標

成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1 文化芸術活動のしやすいまちだと答える市民の割合	%	36.9	34.0	60.0	
2 庄内文化賞受賞者	人	1	1	1	
3 阿部次郎文化賞受賞者	人	0	0	1	

事業No.4 1

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	美術館管理事業
事務事業名	美術館管理事業
担当部署名	企画部文化政策課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	<都市文化政策> 誇りのもてる酒田らしさの創造 10~20
該当する基本的施策①	1 文化芸術活動を行う環境の整備
該当する基本的施策②	2 文化芸術に親しむことができる環境の整備
該当する基本的施策③	15 文化施設の活用
該当する基本的施策④	

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	公益財団法人さかた文化財団
3 事業の対象	市民
4 事業の目的	酒田市美術館を運営することにより、美術展を通じた文化芸術活動の場と芸術鑑賞の機会を創出し、文化芸術活動を推進すること。
5 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・酒田市美術館の管理及び運営を、(公財)さかた文化財団を指定管理者として管理委託する。 ・美術館周辺の松くい虫被害木の処理を行う。 ・高橋剛作ブロンズ像のメンテナンスを行う。(屋外設置の3体)

事業No.4 1

■事業コスト (単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費 (a)	111,673	109,971	104,345
財源内訳	国支出金		
	県支出金		
	市債		
	その他 ()		
	受益負担金 (使用料、手数料等)		
一般財源	111,673	109,971	104,345

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
職員数内訳	正規職員従事者数	人工		
	再任用職員従事者数	人工	0.2	0.2
	会計年度任用職員	人工		

■成果(活動)指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	文化芸術活動のしやすいまちだと答える市民の割合	%	36.9	34.0	60.0	
2	文化施設に行ったことのある市民の割合	%	74.0	66.3	90.0	
3	文化芸術活動を鑑賞した市民の割合	%	30.9	41.0	43.0	
4	入場者	人	37,619	26,341	30,000	

事業No.42

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	土門拳記念館管理事業
事務事業名	土門拳記念館管理事業
担当部署名	企画部文化政策課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本的施策①	1 文化芸術活動を行う環境の整備
該当する基本的施策②	2 文化芸術に親しむことができる環境の整備
該当する基本的施策③	15 文化施設の活用
該当する基本的施策④	

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	公益財団法人さかた文化財団
3 事業の対象	市民
4 事業の目的	土門拳氏の功績を記念した写真館を運営することにより、写真を通じた文化芸術活動の場と芸術鑑賞の機会を創出し、文化芸術活動を推進すること。
5 事業内容	・土門拳記念館の管理及び運営を、(公財)さかた文化財団を指定管理者として管理委託する。 また、収蔵されている土門拳撮影フィルムについて、ピネガーシンドロームといわれる化学変化による劣化が進行しており、将来に向けて作品を残すため、長期保存対策を施す。

事業No.42

■事業コスト (単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費(a)	57,764	56,853	48,345
財源内訳	国支出金		
	県支出金		
	市債		
	その他()		
	受益負担金(使用料、手数料等)		
一般財源	57,764	56,853	48,345

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
正規職員従事者数	人工			
再任用職員従事者数	人工	0.2	0.2	0.2
会計年度任用職員	人工			

■成果(活動)指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	文化芸術活動のしやすいまちだと答える市民の割合	%	36.9	34.0	60.0	
2	文化施設に行ったことのある市民の割合	%	74.0	66.3	90.0	
3	文化芸術活動を鑑賞した市民の割合	%	30.9	41.0	43.0	
4	入場者	人	13,925	16,820	17,000	

事業No.43

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	土門拳文化賞顕彰事業
事務事業名	土門拳文化賞顕彰事業
担当部署名	企画部文化政策課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	<都市文化政策> 誇りのもてる酒田らしさの創造 10~20
該当する基本的施策①	5 文化芸術を支える人材の育成
該当する基本的施策②	15 文化施設の活用

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市、公益財団法人さかた文化財団
2 協働の相手方	土門拳文化賞選考委員会
3 事業の対象	アマチュア写真愛好家
4 事業の目的	土門拳氏の功績を記念した写真公募作品の顕彰及び受賞作品の展示を開催することにより、写真を通じた文化芸術活動の場と芸術鑑賞の機会を創出し、文化芸術活動を推進すること。
5 事業内容	<p>国内のアマチュア写真愛好家を対象に写真公募「第29回酒田市土門拳文化賞」に係る写真作品の公募を行い、受賞作について作品展を開催する。</p> <p>(1) 土門拳記念館と東京都内及び大阪府内において、「第29回酒田市土門拳文化賞受賞作品展」(土門拳文化賞1点と土門拳文化賞奨励賞3点)を開催する。</p> <p>(2) 令和5年度第29回土門拳文化賞の主な日程(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選考会 令和5年6月9日(金) ・受賞者及び受賞作品発表 8月定例記者会見 ・授賞式 令和5年10月1日(日)

事業No.43

■事業コスト

(単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費(a)	1,636	1,397	1,676
財源内訳	国支出金		
	県支出金		
	市債		
	その他()		
	受益負担金(使用料、手数料等)		
一般財源	1,636	1,397	1,676

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
職員数内訳	正規職員従事者数	人工		
	再任用職員従事者数	人工	0.2	0.2
	会計年度任用職員	人工		

■成果(活動)指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	文化芸術活動のしやすいまちだと答える市民の割合	%	36.9	34.0	60.0	
2	文化芸術活動を鑑賞した市民の割合	%	30.9	41.0	90.0	
3	文化施設に行ったことのある市民の割合	%	74.0	66.3	43.0	
4	受賞作品展入館者数	人	1,339	3,061	1,800	

事業No.44

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	(再掲)文化振興総務管理事業
事務事業名	本間美術館活動補助金
担当部署名	企画部文化政策課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	<都市文化政策> 誇りのもてる酒田らしさの創造 10~20
該当する基本的施策①	1 文化芸術活動を行う環境の整備
該当する基本的施策②	2 文化芸術に親しむことができる環境の整備
該当する基本的施策③	15 文化施設の活用
該当する基本的施策④	17 観光との連携

■事業の概要

1 事業の実施主体	本間美術館
2 協働の相手方	本間美術館
3 事業の対象	市民
4 事業の目的	貴重な文化財や美術品を多数所蔵している本間美術館の運営状況の安定化と、本市の観光の一大拠点でもある当施設の継続を図る。
5 事業内容	本間美術館運営に係る補助金 本間美術館活動事業補助金 (対象経費：給料手当(事業に直接的に関わるものに限る)、旅費交通費、通信運搬費、消耗品費、修繕費、委託費、印刷製本費、水道光熱費、保険料、諸謝金及び支払手数料)

事業No.44

■事業コスト (単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費 (a)	3,637	3,637	3,637
財源内訳	国支出金		
	県支出金		
	市債		
	その他 ()		
	受益負担金 (使用料、手数料等)		
一般財源	3,637	3,637	3,637

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
正規職員従事者数	人工	0.01	0.01	0.01
再任用職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工			

■成果(活動)指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	文化芸術活動のしやすいまちだと答える市民の割合	%	36.9	34.0	60.0	
2	文化施設に行ったことのある市民の割合	%	74.0	66.3	90.0	
3	文化芸術活動を鑑賞した市民の割合	%	30.9	41.0	43.0	
4	入場者	人	14,257	17,898 (R.5.2月末現在)	20,000	

事業No.45

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	(再掲)文化振興総務管理事業
事務事業名	市民芸術祭開催事業
担当部署名	企画部文化政策課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	
該当する基本的施策①	2 文化芸術に親しむことができる環境の整備
該当する基本的施策②	5 文化芸術を支える人材の育成
該当する基本的施策③	6 市民との協働・共創による事業展開
該当する基本的施策④	20 市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	酒田市芸術文化協会
3 事業の対象	市民、芸術団体
4 事業の目的	市民の文化芸術活動を広く公表する場として、酒田市民芸術祭を開催することで、文化芸術に対する市民の興味関心の向上を図る。
5 事業内容	○市民芸術祭参加事業（酒田地域） 開催時期：令和5年8月から令和6年2月（7か月間） 参加募集：令和4年6月から ※各支所地域は、各総合支所及び芸術文化協会各支部が主体となってタウンセンター等を会場に実施予定

事業No.45

■事業コスト

(単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費 (a)	1,071	1,071	1,071
財 源 内 訳	国支出金		
	県支出金		
	市債		
	その他 ()		
	受益負担金 (使用料、手数料等)		
一般財源	1,071	1,071	1,071

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
正規職員従事者数	人工	0.3	0.3	0.3
再任用職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工			

■成果(活動)指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	文化芸術活動に参加した市民の割合	%	27.0	26.9	33.0	
2	文化芸術活動を鑑賞した市民の割合	%	30.9	41.0	43.0	
3	参加団体	団体	3	10	10	
4	来場者数	人	11,904	10,284	12,000	

事業No.46

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	文化芸術推進事業
事務事業名	各団体への補助等
担当部署名	企画部文化政策課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	
該当する基本的施策①	2 文化芸術に親しむことができる環境の整備
該当する基本的施策②	5 文化芸術を支える人材の育成
該当する基本的施策③	6 市民との協働・共創による事業展開
該当する基本的施策④	

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	なし
3 事業の対象	公益社団法人山形交響楽協会、山形交響楽団庄内定期演奏会酒田公演実行委員会、酒田フィルハーモニー管弦楽団、酒田吹奏楽団、全国公立文化施設協議会、山形県内公立文化施設協議会
4 事業の目的	芸術文化振興に貢献する文化芸術団体等に対し、その安定した運営と、より充実した市民への芸術鑑賞の機会提供のために補助金及び負担金を交付するもの。
4 事業内容	山形交響楽協会市町村負担金 山形交響楽団庄内定期演奏会酒田公演負担金 文化芸術活動支援事業補助金（酒田フィルハーモニー管弦楽団） 文化芸術活動支援事業補助金（酒田吹奏楽団） 全国公立文化施設協議会負担金 山形県内公立文化施設協議会負担金

事業No.46

■事業コスト

(単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費 (a)	1,617	1,617	1,543
財源内訳			
国支出金			
県支出金	630	630	560
市債			
その他 ()			
受益負担金 (使用料、手数料等)			
一般財源	987	987	983

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
職員数内訳				
正規職員従事者数	人工	0.02	0.02	0.1
再任用職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工			

■成果(活動)指標

成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1 文化芸術活動に参加した市民の割合	%	27.0	26.9	33.0	

事業No.47

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	文化芸術推進事業
事務事業名	鑑賞事業
担当部署名	企画部文化政策課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	<都市文化政策> 誇りのもてる酒田らしさの創造 10~20
該当する基本的施策①	2 文化芸術に親しむことができる環境の整備
該当する基本的施策②	4 将来の文化芸術を担う子どもたちの育成
該当する基本的施策③	10 文化芸術による社会包摂
該当する基本的施策④	15 文化施設の活用
該当する基本的施策⑤	20 市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	希望ホールレセプションスト
3 事業の対象	地域住民
4 事業の目的	一流の舞台芸術の鑑賞機会を創出する
5 事業内容	<p>【主催】</p> <p>◎宝くじ文化公演（ポップス公演）令和5年9月上旬 →他No.50事業（芸術家・地域ふれあい事業）</p> <p>【共催】</p> <p>◎酒田共同火力創立50周年記念 仙台フィルスペシャルコンサート 令和5年7月29日 出演者 角野隼人（ピアノ） 仙台フィルハーモニー管弦楽団 指揮 太田弦 （以下情報解禁前のため詳細は記載いたしません）</p> <p>◎オーケストラ（2公演） ◎ピアノコンサート（1公演） ◎ダンス公演（1公演） ◎歌舞伎（1公演）</p> <p>※内容・件数についてはあくまで予定のため取り扱いについては、ご注意願います。</p>

事業No.47

■事業コスト (単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費 (a)	3,854	3,346	3,000
財源内訳	国支出金		
	県支出金		
	市債		
	その他 ()		
	受益負担金 (使用料、手数料等)		
一般財源	3,854	3,346	3,000

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度	
		当初予算	決算	当初予算	
職員数内訳	正規職員従事者数	人工	0.5	0.5	1.0
	再任用職員従事者数	人工			
	会計年度任用職員	人工	0.5	0.5	0.5

■成果(活動)指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	文化芸術活動に参加した市民の割合	%	27.0	26.9	33.0	
2	実施回数		1	4	8	
3	参加人数		545	3,658	5,900	

事業No.48

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	文化芸術推進事業
事務事業名	いろいろな展
担当部署名	企画部文化政策課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	
該当する基本的施策①	2 文化芸術に親しむことができる環境の整備
該当する基本的施策②	6 市民との協働・共創による事業展開
該当する基本的施策③	10 文化芸術による社会包摂
該当する基本的施策④	15 文化施設の活用
該当する基本的施策⑤	19 組織体制の強化
該当する基本的施策⑥	20 市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	共催：やまがたアートサポートセンターら・ら・ら、社会福祉法人酒田市社会福祉協議会 協力：中島友彦氏(アートディレクター)、公益財団法人さかた文化財団 酒田市美術館、佐藤真生氏(画家)、市内15福祉施設
3 事業の対象	市民
4 事業の目的	障がい者等の芸術文化活動を振興するため、芸術文化活動の機会を提供するとともに、障がい者等の創意意欲を助長するための環境の整備や必要な支援を行う。
4 事業内容	酒田市在住の障がいのある方々が制作した、絵画、書道、造形物などのアート作品の展示会を行う。 日 時：令和4年9月22日(木)～9月29日(木) 会 場：出羽遊心館 入場料：無料 入場者数：716名（一般665名、高校生以下51名） 出品数：155点（うち18歳以下19点）

事業No.48

■事業コスト (単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費 (a)	1,167	953	1,167
国支出金	291	238	291
県支出金	145	115	145
市債			
その他 ()			
受益負担金 (使用料、手数料等)			
一般財源	731	600	731

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
正規職員従事者数	人工	0.2	0.2	0.2
再任用職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工	0.1	0.1	0.1

■成果(活動)指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	文化芸術活動に参加した市民の割合	%	27.0	26.9	33.0	
2	入場者数	人	652	716	800	

事業No.49

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	文化芸術推進事業
事務事業名	人材育成事業
担当部署名	企画部文化政策課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本目標	<都市文化政策> 誇りのもてる酒田らしさの創造 10~20
該当する基本的施策①	5 文化芸術を支える人材の育成
該当する基本的施策②	6 市民との協働・共創による事業展開
該当する基本的施策③	12 多様な分野との連携及びネットワークづくり
該当する基本的施策④	20 市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	希望ホールレセプションスト
3 事業の対象	希望ホール職員、地域住民
4 事業の目的	希望ホール職員と市民と一緒に事業にかかわることで、地域の文化芸術を支える人材育成を図る。
4 事業内容	希望ホールで開催される公演の際に、会場準備、お客様への座席案内や誘導などを行うレセプションストの育成を図る。全国の公共ホールでのレセプションストの育成において、経験と実績のあるサントリーパブリシティサービス(株)より講師をお迎えし、実技も交えて全6回の研修を行う。

事業No.49

■事業コスト (単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費 (a)	4,635	3,600	3,727
財源内訳	国支出金		
	県支出金		
	市債		
	その他 ()		
	受益負担金 (使用料、手数料等)		
一般財源	4,635	3,600	3,727

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
正規職員従事者数	人工	0.3	0.3	0.3
再任用職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工			

■成果(活動)指標

	成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1	文化芸術活動に参加した市民の割合	%	27.0	26.9	33.0	
2	実施回数	回	3	11	6	
3	参加人数 (実人数)	人	14	41	20	

事業No.50

令和5年度 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

予算事業名	文化芸術推進事業
事務事業名	芸術家・地域ふれあい事業
担当部署名	企画部文化政策課
該当する基本目標	<市民文化政策> 自由で多様性を認める心豊かな市民生活の実現 1~16
該当する基本的施策①	2 文化芸術に親しむことができる環境の整備
該当する基本的施策②	3 学校教育における文化芸術活動の充実
該当する基本的施策③	7 地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
該当する基本的施策④	15 文化施設の活用
該当する基本的施策⑤	19 組織体制の強化
該当する基本的施策⑥	20 市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 協働の相手方	希望ホールレセプション・文化芸術サポーター
3 事業の対象	市内小学校児童生徒、山形県立酒田特別支援学校児童生徒、庄内地域高等学校演劇部、地域住民
4 事業の目的	一流の芸術に触れる機会の創出
4 事業内容	<p>国内を代表するアーティストが酒田市に一定期間滞在し、市内小学校でのワークショップ、地域の公共施設・文化施設等でのワンコインコンサート（以下「地域コンサート」）等を行うことで、慣れ親しんだ環境で子どもたちを含む地域住民が気軽に芸術にふれる機会を創出するとともに、アートによる地域全体の交流を図る。加えて、環境の整った希望ホールでのワークショップ、リサイタル、公演を行うことで、一流の舞台芸術の鑑賞機会を創出する。また、酒田市に滞在することでアーティストに本市の魅力を知ってもらい、市民との対話、地域との交流を図ることで、単に芸術鑑賞に留まらず芸術の多様性の共有、芸術を通じた地域全体の発展、人材育成などを目的とする。</p> <p>音楽事業は、市内全小学校の5年生、酒田特別支援学校児童生徒を対象にクラスコンサートを実施。自ら通学する学校の音楽室等でアーティストが演奏するという特別な体験をすることで、芸術を身近に感じ興味を持つきっかけとなるとともに、地域にある施設を利用し、地域コンサートを行うことで、これまで以上に広く市民に芸術にふれる機会を提供し、人・地域・アーティストの交流を図る。さらに、県内屈指の音響設備を誇る希望ホールで存分に体験してもらうためのリサイタルを実施。上質で臨場感あふれる圧巻の演奏を鑑賞する場を創出する。</p> <p>演劇事業では、日頃交流のない、プロの演出家、他校演劇部生徒、ホールスタッフとの新たな交流の創出、新たな活動のきっかけ作りを目的として、庄内地域（酒田市・鶴岡市他3町）で活動する高校演劇部員を対象に、3日間のプログラムでワークショップを実施。</p>

事業No.50

■事業コスト (単位:千円)

項目	令和4年度		令和5年度
	当初予算	決算予定	当初予算
事業費 (a)	16,428	14,406	16,077
財源内訳	国支出金		
	県支出金		
	市債		
	その他 ()		
	受益負担金 (使用料、手数料等)		
一般財源	16,428	14,406	16,077

■事業人工

項目	単位	令和4年度		令和5年度
		当初予算	決算	当初予算
正規職員従事者数	人工	2.0	2.0	2.0
再任用職員従事者数	人工			
会計年度任用職員	人工	0.5	0.5	0.5

■成果(活動)指標

成果指標	単位	実績		目標	最終年度目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和9年度
1 文化芸術活動に参加した市民の割合	%	27.0	26.9	33.0	
実施回数					
(1)学校派遣型事業 (アウトリーチ)	回	32	40	30	
(2)ワークショップ (インリーチ)	回	7	9	8	
(3)地域ワンコインコンサート	回	...	4	4	
(4)リサイタル・公演	回	6	5	5	
参加人数					
(1)学校派遣型事業 (アウトリーチ)	人	809	956	725	
(2)ワークショップ (インリーチ)	人	355	331	200	
(3)地域ワンコインコンサート	人	...	593	600	
(4)リサイタル	人	1,386	1,047	1,500	

